

様式第3号（第7条関係）

パブリックコメント募集案件公表書

【案件名： つくば市科学技術・イノベーション振興指針（案）】

令和4年（2022年）1月

つくば市政策イノベーション部科学技術振興課

案件名	つくば市科学技術・イノベーション振興指針(案)
募集期間	令和4年(2022年)1月4日 ~ 令和4年(2022年)2月3日
担当課	政策イノベーション部科学技術振興課
問合せ	TEL 029-883-1111 (内線)6271

■ 意見募集の趣旨

令和4年度(2022年度)から5年間の市の科学技術振興に関する方針を定める「つくば市科学技術・イノベーション振興指針」に関し、第3期となる本指針では、「市民のために科学技術をいかすまち」の実現を目的に、より市民が「科学技術のまち」に住む恩恵を感じられるよう、広く市民の皆さまからのご意見を募集します。

■ 資料

- ・つくば市科学技術・イノベーション振興指針(案)

■ 提出方法

- 直接持参
 - ・政策イノベーション部科学技術振興課
(コミュニティ棟2階)
 - ・各窓口センター
 - ・各地域交流センター
 - ※施設閉庁日を除く。
- 郵便
 - 〒305-8555
 - つくば市研究学園一丁目1番地1
 - つくば市政策イノベーション部科学技術振興課
- ファクシミリ 029-868-7640
- 電子メール pln112@city.tsukuba.lg.jp
- ホームページの電子申請・届出サービス
- ※ 意見の提出については、別に定める「パブリックコメント意見提出様式」又はホームページの電子申請・届出サービスの入力フォームに必要事項を入


力して意見をお寄せください。ただし、意見は様式以外でも提出できます。必ず計画・条例等の名称並びに氏名及び住所（法人その他の団体は、名称、代表者氏名及び所在地）を明記の上、提出してください。

■ 提出された意見の取扱い

- ・ パブリックコメント手続は、計画等の案の賛否を問うものではなく、内容をより良いものにするために、意見を募集し、意思決定の参考とするものです。提出された意見を十分考慮した上で、つくば市科学技術・イノベーション振興指針の最終決定を行います。
- ・ 提出された意見は、集計後から市の考え方を公表するまでの間、原文を公表します。個人情報等の取扱いには十分注意するとともに、公表に際しては、個人が識別できるような内容及び個人又は法人等の権利利益を害するおそれのある情報など公表することが不適切な情報（つくば市情報公開条例第5条に規定する不開示情報をいいます。）については、公表しません。
- ・ 提出された意見に対する市の考え方は、意見をいただいた方々に個別に回答するのではなく、類似する意見を集約するなどして、意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。
また、案の修正を行った場合は、その修正案を公表します。

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方の公表時期並びに公表場所

- 公表時期 2022年3月頃を予定しています。
- 公表場所 市ホームページ、政策イノベーション部科学技術振興課（コミュニティ棟2階）、情報コーナー（庁舎1階）、各窓口センター、各地域交流センター



つくば市科学技術・ イノベーション 振興指針（案）


令和4年(2022年)3月

つくば市

〔対象期間〕

令和4年度(2022年度)から

令和8年度(2026年度)まで



これからの
やさしさの
ものさし
つくばSDGs

はじめに(市長あいさつ)

目次

「科学技術」をもっと身近に.....	1
I 振興指針策定にあたって.....	5
1. 指針策定の背景と趣旨.....	6
2. 指針の位置づけ.....	7
3. 指針の推進期間.....	7
4. 第2期指針の検証 成果と課題.....	8
II 基本理念と基本方針.....	11
1. 基本理念.....	12
2. 基本方針と取組の方向性.....	13
3. 取組の方向性の考え方.....	14
III 取組の方向性.....	15
1. 科学技術のまちを感じる機会を創出する.....	16
2. ひとに寄り添う環境を整備する.....	18
3. 次代を担う人と地域を育む.....	20
4. 科学で新たな選択肢を創出する.....	22
IV 科学技術に対する各主体の関わり.....	25
1. 市民.....	26
2. 大学・研究機関への期待.....	28
3. 企業への期待.....	28
4. つくば市が果たすべき役割.....	28
参考資料.....	31
1. 科学技術振興に関するアンケート.....	32
2. つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定懇話会委員名簿・審議過程.....	63

「科学技術」をもっと身近に

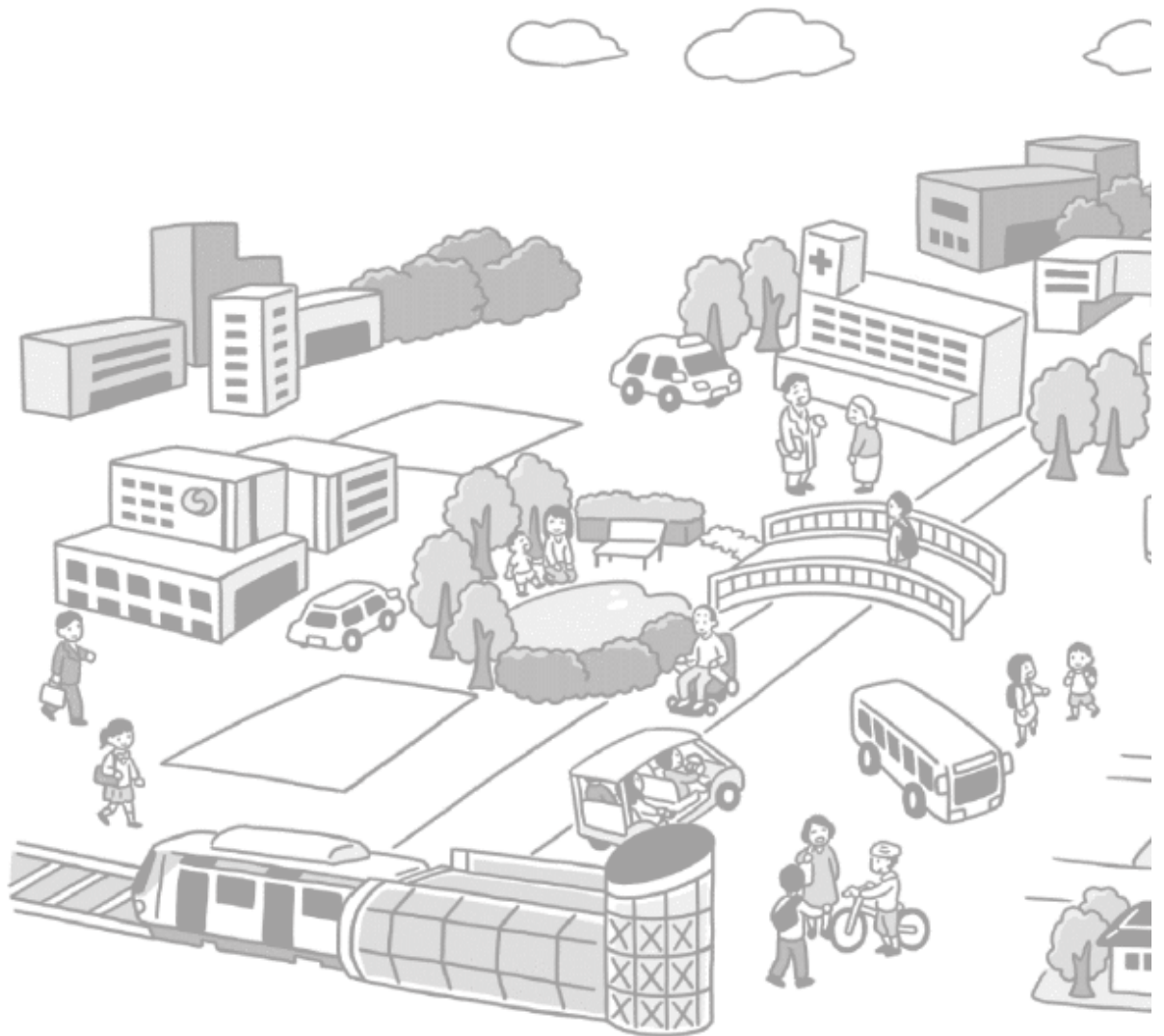
みなさんは、「科学技術」という言葉から何を連想しますか。その捉え方は人によって様々です。

つくば市には、官民合わせて約 150 の研究機関が立地しています。研究分野も多岐にわたり、世界最先端の研究が日々行われています。そして、その研究が私たちの日常生活の中にあるたくさんのモノやサービスとなって満ちあふれています。テレビ・冷蔵庫などの生活用品から、眼鏡・高機能の肌着などの日用品、食卓に並ぶ野菜や果物、自動車・飛行機などの移動手段、インターネット・スマートフォンなどの情報伝達手段など、その多くが科学技術によって生み出されたモノやサービスです。子育てや健康、福祉、防災・防犯、産業、インフラなど様々な分野でも、私たちの暮らしを安心・安全で豊かなものにしていきます。これからも私たちの生活につながり身近なものとなって、暮らしをますます便利にしていく可能性を秘めています。

つくば市は、科学技術が日常に溶け込み、子どもも大人もワクワクする場をもっと増やしていき、市民の幸せな生活につながるまちづくりをしていきます。

「科学技術」をもっと身近に

※p.2-3 日常生活のシーンごとにイラストを入れる予定





I 振興指針策定にあたって

1. 指針策定の背景と趣旨

つくば市は、筑波研究学園都市に集積する科学技術や人材を最大の地域資源と位置づけ、それをまちづくりにいかすことを目指し、平成24年度（2012年度）に「つくば市科学技術振興指針」を策定しました。国の科学技術基本計画でも、国際的な研究開発拠点の一層の発展に向け、筑波研究学園都市の機能強化を図る必要性が明記され、市は市民、大学・研究機関、企業、行政が協働し、ロボットの街つくばの推進、つくば国際戦略総合特区の指定、国際拠点都市としての環境整備など、この地域資源の潜在力が十分に発揮される基盤創りに力を入れてきました。

平成29年度（2017年度）に策定された第2期つくば市科学技術振興指針では、それまで築いてきた基盤に、「持続可能な開発目標（SDGs）」の基本理念である「誰一人取り残さない」という包摂の精神のもと、Society5.0、スマートシティ、未来を担う人材育成などに注力してきました。

一方、我が国においては、AIやIoTなど科学技術・イノベーションの急速な進展により、人間や社会の在り方と科学技術・イノベーションとの関係が密接不可分となっている現状を踏まえ、人文・社会科学を含む科学技術の振興とイノベーションを一体的に図ることを目的に令和2年（2020年度）6月に「科学技術基本法」を改正しました。令和3年（2021年度）4月には、「科学技術・イノベーション基本法」へと名称を変更し、既存の自然科学に加え、人文・社会科学の振興とイノベーションの創出が振興対象に加えられました。

これを受けてつくば市においても、第3期となる本指針の名称を「つくば市科学技術・イノベーション振興指針」に改めました。前期計画で掲げた理念『「知」「技」「結」のちからで未来の社会をつくるまち』の「知」について、研究開発の推進のみならず、社会的価値を生み出す人文・社会科学の「知」と自然科学の「知」の融合による「総合知」により、人間や社会の総合的理解と課題解決に貢献する取組をさらに推進していくことを目指します。

また、第3期では、第2期で進めてきた実証実験しやすい環境をさらに整備していくとともに、その成果をまちづくりにいかし、市民が恩恵を感じることができる「市民のために科学技術をいかすまち」を実現していきます。

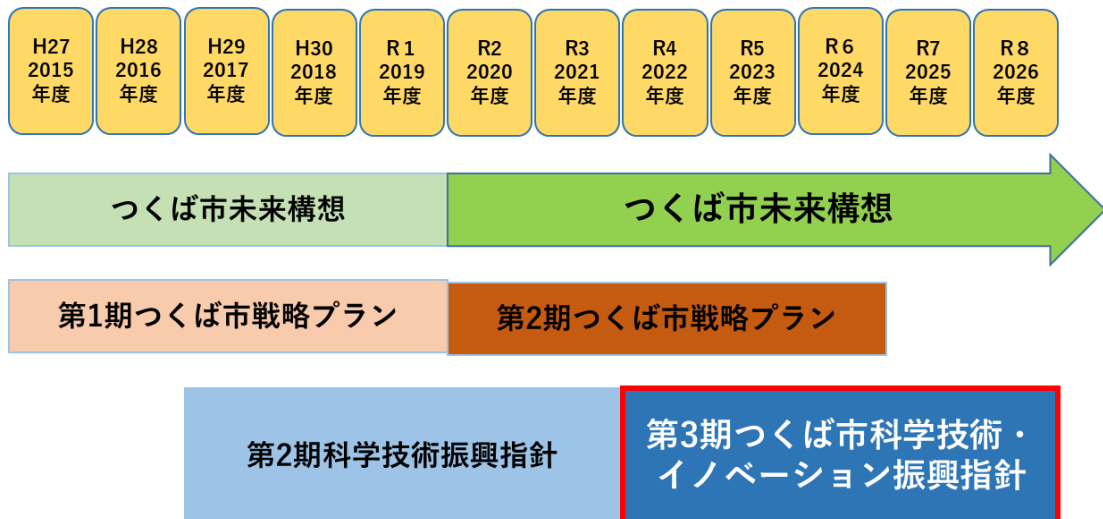
2. 指針の位置づけ

本指針は、科学技術・イノベーション基本法第5条「地方公共団体は、振興方針にのっとり、科学技術・イノベーション創出の振興に関し、国の施策に準じた施策及びその地方公共団体の区域の特性を生かした自主的な施策を策定し、及びこれを実施する責務を有する。」に基づいて策定する「つくば市における科学技術・イノベーション施策の総合指針」です。

また、本指針は、つくば市の最上位計画である「つくば市未来構想・第2期つくば市戦略プラン」を踏まえ、科学技術・イノベーション分野における施策の推進方向を示します。

3. 指針の推進期間

「第2期つくば市科学技術振興指針」が令和3年度（2021年度）をもって計画期間を終了することから、本計画は、令和4年度（2022年度）を初年度とし、令和8年度（2026年度）までを対象期間とする5か年計画とします。



4. 第2期指針の検証 成果と課題

「第2期つくば市科学技術振興指針」では、4つの基本方針に沿って取組を進めてきました。各基本方針における成果と課題は、以下のとおりです。

■ 未来社会を先導する先進的課題への挑戦

つくば市が、我が国の発展や世界的課題の解決を先導する立場であり続けるために、他の地域ではできないような先進的な課題に挑戦し、未来社会を先取りした唯一無二の「実験場」としてのプレゼンス確立や市民が恩恵を実感できるような研究成果の還元を目指してきました。

具体的には、「つくば Society5.0 社会実装トライアル支援事業」や「つくば市未来共創プロジェクト事業」、「スマートシティ協議会の設立」など、社会課題を解決するためのサービスや製品をつくばで実証するための土台を構築しました。また、「遠隔医療相談アプリ」や「多言語デジタル問診票」が、実証実験後にいち早くつくば市内で実用化されるなど一定の成果が得られました。



今後は、実証実験の成果をまちづくりにいかし、先進的なサービスや製品を、市民生活がより豊かになるよう役立ててもらえるような取組を推進することが課題となります。

■ 地域イノベーションを推進する共創・成長の促進

地域連携の強化・連携メリットの見える化、人・モノ・金を呼び込むための成功事例の創出、多種多様な考え方や専門性を持った人々がつながるオープンイノベーション体制の構築を推進してきました。また、次代を担う科学技術・イノベーション人材の育成や地域企業などの創業、成長を目指してきました。

具体的には、(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構(TGI)がハブ機能となってイノベーションを生み出す新たな産学官連携モデルを構築するとともに、研究機関、起業家、投資家などの多様な人々が集まり交流する市営の拠点「つくばスタートアップパーク」を整備し、市内での創業から事業化、成長を一貫して推進する仕組みを構築しました。

また、女性研究者の活躍・育成のために、企業、大学・研究機関、県、市による連携を進めました。



今後は、産学官連携の体制や仕組みを継続・発展させ、創業などによる多

くの社会実装を生み出すとともに、市内在住・在勤の女性研究者のワーク・ライフ・バランスの向上や将来の科学技術・イノベーション人材の育成を図ることが課題となります。

■ 科学技術を通じた市民の交流・学びの促進

市民が日常的に科学技術に触れられる機会を充実させるために、子どもから大人まであらゆる世代が気軽に楽しめる最先端科学技術を体験する場の形成を目指してきました。

具体的には、体験型科学教育事業「つくば STEAM コンパス」、「科学教育マイスター制度」、「サイエンスカフェ」など、身近に科学技術を体験・学習できる取組を実施しました。また、研究者とアーティストの共創による「つくばサイエンスハッカソン」を通じて、科学技術とアートの融合を進めるとともに、作品展示を通じて市民が興味や知的好奇心を高めるための場を創出しました。



今後は、子どもたちをはじめ、より多くの市民に学びや交流の機会を提供していくために、学校の授業と学外プログラムをシームレスに行えるようにすることや、研究機関や研究者との連携を深めることが課題となります。また、市民が科学技術に対する知識をわかりやすく得られる機会を増やしていくことが課題となります。

■ つくばブランディングアプローチの推進

つくば市が中心となって大学や研究機関と連携し、つくば市全体の魅力を結集し、ターゲットに合わせて情報を発信してきました。

具体的には、「つくばサイエンスハッカソン」や、「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」を始めとした国際会議の開催・参加などにより、市の PR を行いました。また、欧州の有力な科学技術都市であるフランス・グルノーブル市及びグルノーブル都市共同体、ドイツ・ボーフム市と、スタートアップや科学技術の分野をメインにした協定を結ぶなど、海外都市との連携を強化しました。さらに、グルノーブル市の研究開発拠点 GIANT 主催で毎年行われている国際会議「ハイレベル・フォーラム」に参加し、市の取組などの情報発信も行っています。



今後は、市民の多くが科学技術のまちを身近に感じ、科学技術の恩恵を感

じられるよう、つくば市の科学技術振興の取組、市内での研究開発成果やつくばの魅力を、やさしく、わかりやすく情報発信することが課題となります。

また、国際会議の場や海外協定都市との取組の機会を通じたつくば市の魅力発信を継続、強化していくことが課題となります。

Ⅱ 基本理念と基本方針

1. 基本理念

つくば市は、官民合わせて約 150 の研究機関が集積している地域であり、科学技術を社会に展開していこうとしている人々が数多くいます。

また、研究者や外国人、高齢者、若者、学生など多様な背景を持った市民が生活を営んでいるまちです。ゆえに、市民によって抱える悩みも様々であり、複雑化しています。

こうした中で、市民が科学技術の恩恵として求めているのは、科学技術が日々の暮らしに還元されることにより、市民の困りごとを解決し、より良い生活を送れることです。

「つくば市未来構想」では、目指すまちの姿の一つに、「市民のために科学技術をいかすまち」を掲げています。一方、令和元年度（2019 年度）つくば市民意識調査によると、5 割近くの市民が「つくばが科学のまちであることの恩恵を「あまり感じない」「感じない」と回答しています。

このような現状を変えるには、科学技術をキーワードに、つくば市というフィールドで、研究者、起業家はじめ事業者、学生、市民など、多様なバックグラウンドを持つ市民がこのまちでつながり、ともにつくばの未来を創っていく必要があります。そして、研究による成果が市民の生活につながり、市民一人一人の暮らしを便利に、そして豊かになり、市民が「科学技術のまち」の恩恵を感じることに繋がります。

これらを踏まえて、本計画の基本理念を

科学技術でつながるつくばの未来

～市民が「科学技術のまち」の恩恵を感じるために～

とします。

2. 基本方針と取組の方向性

第2期指針の検証で確認された課題や、上記基本理念を踏まえ、本計画における基本方針及び取組の方向性を下記のとおり設定します。

科学技術でつながるつくばの未来 ～市民が「科学技術のまち」の恩恵を感じるために～

基本方針

取組の方向性

(1)科学技術のまちを感じる機会を創出する	1.科学技術を体験・理解する 2.科学技術の取組を広める
(2)ひとに寄り添う環境を整備する	1.科学技術を使いやすい環境を整備する 2.研究しやすい環境を整備する
(3)次代を担う人と地域を育む	1.科学技術の担い手を育てる 2.科学技術の担い手とつながる
(4)科学技術で新たな選択肢を創出する	1.新たな価値を創造する 2.科学技術を地域・市民のためにいかす

3. 取組の方向性の考え方

本指針は、8つの取組の方向性に基づく事業を実施することによって、全ての市民に科学技術の恩恵を感じてもらうことを目的としています。

一方、本指針を策定するにあたり開催された「つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定懇話会（以下、懇話会）」では、委員より、これまでの指針の内容が、世界的課題の克服や地域課題の解決、市民生活、産学連携、研究者の成長促進など幅広い領域に及んでいるため、網羅的、総花的になっているという指摘がありました。

また、令和元年度（2019年度）つくば市民意識調査によると、同じ市民でも、年代や居住地区によって、科学のまちである恩恵に対する感じ方に大きな差がみられます。懇話会においても、高齢者や病気の方、障害者や周辺地区に住む市民、ITを普段使わない方々が科学技術の恩恵を特に感じていないという意見がありました。

その他、つくば市が本指針の策定にあたり在住・在勤・在学者に対して実施した「科学技術振興に関するアンケート」（詳細は参考資料32ページから62ページ）でも、「新しい技術や研究成果により将来的に便利になることを期待する分野」が市民の年代や居住地によって異なることが明らかになっています。

これらを踏まえると、本指針の基本理念にも掲げる「市民が『科学技術のまち』の恩恵を感じるために」は、市民の多様な事情やニーズを踏まえながら、特に、恩恵を感じていないと考えている市民や、衣食住、医療など生活に関わる分野に対して優先的・重点的に施策を展開していく必要があります。

本指針においては、取組の方向性ごとに「関連する重点施策」と重点施策に該当する市民を明記し、実効性のある取組を推進していきます。

Ⅲ 取組の方向性

1. 科学技術のまちを感じる機会を創出する

(1) 科学技術を体験・理解する

つくば市が本指針の策定にあたり在住・在勤・在学者に対して実施した「科学技術振興に関するアンケート」（詳細は参考資料 39 ページ）によると、全体の3割が科学のまちとして、つくば市が取り組むべきことに「様々な最先端技術を体験する機会の提供」を挙げています。そのため、様々な市民が科学技術を自分ごととして考え体験できる場を増やしていく必要があります。

これらを踏まえ、つくば市は、科学技術の実証実験などへのモニターとして科学技術を体験する機会を増やします。また、研究者と市民が協力して研究プロジェクトを行うシチズンサイエンス（科学技術への市民参加）を推進します。このため実験モニターやシチズンサイエンスに参加、協力を望む市民をマッチングする仕組みを整えます。

このほか研究機関・大学、研究者による科学技術が日常生活に普及していることを学ぶ市民公開講座などの開催や、つくばエキスポセンターの展示施設の充実などにより、市民が普段受けている科学技術の恩恵を理解できる環境を作ります。

大学や研究機関は、市民が科学技術を体感できる一般公開イベントの開催やサイエンスカフェなどの機会の創出を継続・強化していくことが望まれます。

【関連する重点施策】

重点施策	対象者
実証実験のモニター、協力者のマッチング	全ての市民
シチズンサイエンス（科学技術への市民参加）の推進	全ての市民
研究者によるセミナーの開催支援	全ての市民、研究者（講演者）

(2) 科学技術の取組を広める

第2期指針に基づく取組では、つくば市の科学技術の取組、市内での研究開発成果やつくばの科学技術や魅力を、やさしく、わかりやすく情報発信することが課題となっています。「科学技術振興に関するアンケート」(詳細は参考資料 47 ページ) をみても、市が取り組んでいる事業の認知度は取組によって大きな差がみられます。

また、「科学技術振興に関するアンケート」(詳細は参考資料 43 ページ) によると、科学技術に関して発信されることを期待する情報として、「科学技術に関する最新の話やニュース」と、「身近な場面での科学技術の活用事例」が6割を超え、これまで情報発信の中心であった「イベントなどの情報」よりも求められている結果となりました。したがって、科学技術の取組自体に関する情報だけではなく、日常生活との関わり合いについても発信を行う必要があります。

さらに、「科学技術振興に関するアンケート」(詳細は参考資料 42 ページ) の、普段の科学技術に関する情報を得る方法(媒体)では、「インターネット、電子掲示板、SNS」が上位を占めていることから、インターネットを活用した積極的な情報発信が必要です。

これらを踏まえて、つくば市は科学技術に関する最新の情報のほか、衣食住や医療などの身近な科学技術に関する情報、市内で活躍する研究者の情報などの発信を市民に目線をあわせて行います。そのため、市の広報媒体やインターネット積極的に活用するとともに既存のポータルサイトでコンテンツを増やしたり、つくば駅などで研究をわかりやすく伝える展示を行うことなどにより市の魅力を発信していきます。

また、国内外に向けて、国際会議・海外協定都市との取組の機会を効果的に活用し、筑波研究学園都市の創造性や多様性といった都市の魅力を発信していきます。

他方、大学や研究機関においても、市民が科学技術を肌身で感じられるような方法で研究内容に関する情報発信に努めていくことが期待されます。

【関連する重点施策】

重点施策	対象者
インターネットを活用した積極的な情報発信	全ての市民
つくばで輝く研究者情報の発信(研究者のロールモデル紹介)	全ての市民 特に研究者、学生など
研究内容をデジタルテクノロジーを駆使したアートで発信(つくばサイエンスハッカソン)	全ての市民
国際会議・海外協定都市との取組の機会を活用した対外発信	全ての市民

2. ひとに寄り添う環境を整備する

(1) 科学技術を使いやすい環境を整備する

「科学技術振興に関するアンケート」（詳細は参考資料 49 ページ）によると、科学技術に関心を持たない理由として、「科学技術に関し難しさを感じる」と答える割合が 50 代・60 代では高く、利用の敬遠に繋がっている傾向が伺われ、また科学技術の発展に伴い不安を感じる分野について、「サイバーテロ、不正アクセスなどの IT 犯罪」が 6 割となっており、個人情報の漏洩などに不安を持っています。

その他、市民が科学技術を使いやすい環境を整えるため、大学・研究機関、及び企業が科学技術を活かしたサービスや製品を試すことができる場を整備することが必要です。

これらの点を踏まえて、つくば市は、IT の利用に困難を感じる方も取り残すことなく、安心して科学技術の恩恵を受けられるように、デジタル活用支援員などによる IT 利用に係る相談の対応やデジタルスキル養成研修の開催といった支援体制とセットとしたスマホやタブレットの配付などの新たな取組により、科学技術を利用するための環境を整備します。その結果として、市民の科学技術への受容性を高めます。

同時に、科学技術の社会実装を後押しするため、つくばスマートシティ倫理原則（令和元年（2019 年）10 月制定）遵守の徹底など、個人情報の保護により一層の注意を払います。

さらにつくば市は、大学・研究機関や企業が科学技術をいかし、新たなサービスや製品を社会に展開することを支援するため、実証フィールドの提供及び規制緩和の働きかけを実施します。

【関連する重点施策】

重点施策	対象者
実証実験のモニター、協力者のマッチング	全ての市民
スマホ、タブレット配付	IT の利用に困難を感じる市民
スマホアドバイザー（デジタル活用支援員）配置	IT の利用に困難を感じる市民

(2) 研究しやすい環境を整備する

研究者や研究従事者にとって研究しやすい環境を整備することは、市の科学技術振興にとってとても重要で基盤となる部分です。第2期指針に基づく取組では、市内在住・在勤の女性研究者のワーク・ライフ・バランスの向上が課題となっていますが、ワーク・ライフ・バランスの実現は、女性研究者だけではなく、男性研究者や外国人など様々な研究者にとって研究活動に集中する上で重要な取組になります。ワーク・ライフ・バランスの実現とは、仕事と生活の調和、つまり仕事と家庭生活が両立できる環境を作ることがもっとも大切だと考えています。

以上を踏まえて、つくば市は、保育所等の整備はもとより、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組むつくば女性研究者支援協議会などの取組・機能強化の支援をするほか、行政手続きの電子化により仕事を休まなければいけないような行政手続きを減らすことなどに取り組み、これにより仕事と家庭生活（家事、育児 など）の両立を支援します。

また、外国人研究者及び外国人起業家の生活環境を支援することにより、優秀な外国人材の誘引・定着を促していきます。諸外国からの優秀な研究者の招へい、外国人研究者などの雇用促進については、第6期科学技術・イノベーション基本計画においても推進していることから、市が外国人研究者に選ばれるよう、多言語での情報発信など生活基盤の充実をはかっていきます。

さらに、大学や研究機関、企業も、在籍する研究者が仕事と家庭生活を両立できる制度を整備・運用することで、研究しやすい環境を整備していくことが望まれます。

【関連する重点施策】

重点施策	対象者
研究活動に集中しやすい環境整備（ワーク・ライフ・バランスの実現）	仕事と家庭生活を両立する研究者、特に女性研究者
行政手続きのデジタル化（「書かない・待たない・行かない」を実現）	全ての市民、仕事と家庭生活を両立する市民
多言語ポータルアプリ（行政内部データと連携し、住民ニーズに合った手続きを提供。また、属性に応じた情報を発信）	全ての市民、特に外国人
外国人研究者宿舎との連携	外国人研究者

3. 次代を担う人と地域を育む

(1) 科学技術の担い手を育てる

「科学技術振興に関するアンケート」（詳細は参考資料 39 ページ）によると、科学のまちとして、つくば市が取り組むべきこととして、全体の約 4 割が「学校での科学教育の機会提供」を挙げています。

また、市内の大学・研究機関・企業などに期待することとして、「小・中・高校との連携した科学（理科）教育の充実」（詳細は参考資料 40 ページ）が約 4 割と上位になっています。

その他、子どもや学生だけではなく、子どもをもつ研究者や科学技術を長らく支えていたスキルやノウハウを持つ優秀なシニア人材（プラチナ世代）など幅広い市民が未来の開拓者として科学技術の普及に関わっていくことが必要です。

これらを受けて、つくば市は、体験型科学教育促進事業「つくば STEAM コンパス」など、STEAM 教育を取り入れた分野横断型・体験型教育を、学校の教育プログラムと連携を図り、学外プログラムとシームレスになるようにし、持続的な科学教育の学びを提供します。また、起業や副業に対する支援、ノウハウを持つシニア人材（プラチナ世代）との連携などにより、子どもや学生だけではなく、幅広い世代の市民が科学技術の普及のために活躍できる場を作ります。

また、大学や研究機関は、勤務する教員や研究者による教育活動をとおして、科学技術の担い手を育成していくことが期待されます。

【関連する重点施策】

重点施策	対象者
つくば科学教育マイスターによる講座	ノウハウを持つシニア人材、学生など
STEAM 教育を取り入れた教育プログラム（体験型科学教育事業）	学生など
子どもをもつ研究者・シニア人材（プラチナ世代）との連携	子どもをもつ研究者 ノウハウを持つシニア人材

(2) 科学技術の担い手とつながる

第2期指針では、イノベーション・エコシステムの構築やスタートアップを促進する産学官連携の体制や仕組みを作ることに取り組んできました。引き続き、大学・研究機関同士、または研究者同士の交流の場を創出していくとともに、今後は、市民と研究者の交流も積極的に行っていきます。

社会情勢が大きく変化を遂げる中で、住民によって取り巻く環境はそれぞれで異なっており、社会課題は複雑化、多様化しています。こうした課題を解決するために、市民と研究機関・研究者、研究機関同士、研究者同士、研究機関と地元企業の連携強化による新たな価値の創出が課題となっています。

これらを踏まえ、つくば市は、地域のネットワークを活用して研究者同士がつながる場を創出することで交流を支援します。また、人文・社会科学を含めて研究分野の異なる組織や研究者、起業家はじめ事業者、学生、市民など分野を問わず交流する機会を作ることなど、異分野交流を促進していきます。

【関連する重点施策】

重点施策	対象者
【再掲】シチズンサイエンス（科学技術への市民参加）の推進	全ての市民
【再掲】研究者によるセミナーの開催支援	全ての市民、研究者（講演者）
起業家や地元企業と研究者のつながる場の創出（つくばスタートアップパーク）	研究者など
組織を跨ぐ研究者の交流促進（異分野・研究者交流会）	研究者など

4. 科学で新たな選択肢を創出する

(1) 新たな価値を創造する

科学技術により新たな価値を創造するためには、研究成果の実証実験に加えて、社会実装を促していく必要があります。

「科学技術振興に関するアンケート」（詳細は参考資料 39 ページ）によると、約4割の市民が科学のまちとして、つくば市が取り組むべきこととして、「大学・研究機関・企業への社会実装（研究成果の社会普及）に対する支援」を挙げています。

また、市内の大学・研究機関・企業などに期待することとして、「世界的な研究成果」（詳細は参考資料 40 ページ）が4割超と最も多くなっています。

さらに、住民一人ひとりが抱える課題が多様化、複雑化する中で、科学技術の恩恵を生み出すには、研究開発や実証実験、社会実装の過程に、あらゆる人々が利用者の視点で一緒に関わり、科学技術を社会に展開していくことが重要です。

これらを考慮して、つくば市は、科学技術の社会実装までの過程でモニターとして市民の参加を促すことや実証フィールドの提供などにより、市民と一緒に科学技術の恩恵を生み出していきます。その結果、社会実装に関わるスタートアップなどの創出・成長により、新たな産業を生み出すことが望まれます。

【関連する重点施策】

重点施策	対象者
【再掲】実証実験のモニター、協力者のマッチング	全ての市民
シチズンサイエンス（科学技術への市民参加）の推進	全ての市民
スタートアップの推進	研究・事業シーズをいかした創業を目指す市民

(2) 科学技術を地域・市民のためにいかす

市民が科学技術の恩恵を感じるためには、科学技術から生まれたサービスや製品を活用することで、医療・介護、移動（モビリティ）、行政サービス、教育・子育てなど市民の暮らし（衣食住）を豊かに、便利にしていくことが必要です。また、IT を使いこなせる方だけではなく、高齢者や障害者、科学技術に詳しくない方も等しく科学技術の恩恵を受けることができる環境を整えていくことが重要です。

以上を踏まえて、つくば市は、「つくばスーパーサイエンスシティ構想」に基づきスマートシティの取組を進めることで、市民の困りごとを解決する先端的なサービスの社会実装により、地域・市民が科学技術の恩恵を日々の暮らし中で受けることができるまちづくりを実現します。

また、つくば市は、大学・研究機関・企業が生み出した研究成果や開発した製品を、市民や市内事業所に試してもらったり、公共調達により市場化を加速させるなどして研究成果の商用化を支援します。

【関連する重点施策】




重点施策	対象者
区域内移動サービス（パーソナルモビリティなどを活用した地域内の主要な目的地へのスムーズな移動）	全ての市民、特に、移動に困っている市民
医療 MaaS（通院、受診という一連の流れを組み合わせたサービス）	全ての市民、移動が難しく医療を受けにくい市民
行政のデジタル化（「書かない・待たない・行かない」窓口）	全ての市民
多言語ポータルアプリ（行政内部データと連携し、住民ニーズに合った手続きを提供。また、属性に応じた情報を発信）	全ての市民、特に外国人



IV 科学技術に対する各主体の関わり

1. 市民

多様な市民が科学技術により受ける恩恵とは、子育て・医療・福祉支援、防災・防犯対策、産業振興、インフラの拡充など様々な面において暮らしが豊かになることだと考えられます。

具体的な科学技術の恩恵のイメージは以下のとおりです。

 <p>高齢者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンなどを使うことができるようになり、いつでも様々なサービスを受けることができる。(具体的な施策：スマホ、タブレット配付、スマホアドバイザー配置) ● 必要なときに必要な場所に行くことができる。(具体的な施策：区域内移動サービス) ● 通院、受診という一連の流れを組み合わせたサービスにより、移動が楽になる。(具体的な施策：医療 MaaS) ● 多様な行政サービスを移動なく受けることができる。(具体的な施策：行政のデジタル化) ● 研究開発に参加することで、科学技術や社会の発展に貢献することができる(具体的な施策：シチズンサイエンス (科学技術への市民参加))
 <p>障害者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要なときに必要な場所に行くことができる。(具体的な施策：区域内移動サービス) ● 通院、受診という一連の流れを組み合わせたサービスにより、移動が楽になる。(具体的な施策：医療 MaaS) ● 多様な行政サービスを移動なく受けることができる。(具体的な施策：行政のデジタル化) ● 研究開発に参加することで、科学技術や社会の発展に貢献することができる(具体的な施策：シチズンサイエンス (科学技術への市民参加))
 <p>学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● いち早く新しい製品・サービスを体験することができる(具体的な施策：実証実験のモニター) ● 様々な職業のロールモデルを知ることができる(具体的な施策：研究者のロールモデル紹介) ● 起業するための支援を受けたり、異分野の研究者と交流することができる(具体的な施策：スタートアップ)

 <p>子育て世代</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な行政サービスを分かりやすく、移動なく受けることができる。(具体的な施策：行政のデジタル化) ● 分野横断型の教育を受けることにより論理的思考を養うことができる (具体的な施策：STEAM 教育を取り入れた教育プログラム) ● インターネットによる医療相談など商用化された研究成果の利用
 <p>研究者</p>	<p>【特に女性研究者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各機関の取組推進により、研究しやすい環境で働き続けることができる (具体的な施策：研究活動に集中しやすい環境整備) ● 多様な行政サービスを分かりやすく、移動なく受けることができる。(具体的な施策：行政のデジタル化) <p>【特に外国人研究者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入居手続きなどを簡素化することができる (具体的な施策：外国人宿舎との連携) ● 緊急時も外国語で迅速に情報を得ることができる (具体的な施策：多言語ポータルアプリ)

2. 大学・研究機関への期待

つくば市は、市民が科学技術の恩恵を感じられるようにするために、以下の役割を大学・研究機関に期待します。

- ✓ 最先端の研究成果を生み出し、アピールすること
- ✓ 研究活動を市民にわかりやすく発信し、可視化すること
- ✓ 科学技術の実証実験に市民モニターを活用すること
- ✓ シチズンサイエンス（科学技術への市民参加）の研究手法をより多く活用すること
- ✓ 科学技術を社会に実装していこうとする人々を育成すること
- ✓ 女性や外国人など多様な研究者の働きやすい環境を整備すること
- ✓ 大学・研究機関・企業の連携・交流、または研究者の交流を活性化すること
- ✓ 産学の柔軟なキャリアパスを実現すること

3. 企業への期待

つくば市は、市民が科学技術の恩恵を感じられるようにするために、以下の役割を企業に期待します。

- ✓ 科学技術によりサービスや製品を生み出し、市域・社会に普及・展開していくこと
- ✓ 科学技術によりサービスや製品を生み出し、そのビジネスを通じて、市域経済を活性化すること
- ✓ 研究機関との共同研究などを進め、筑波研究学園都市の研究活動の一翼を担うこと
- ✓ 女性や外国人など多様な研究者の働きやすい環境を整備すること
- ✓ つくば発スタートアップとして市内で創業、成長していくこと
- ✓ 博士人材の採用と、産学の柔軟なキャリアパスを実現すること

4. つくば市が果たすべき役割

つくば市は、市民が科学技術の恩恵を感じられるようにするために、「4つの基本方針」に基づく重点施策をはじめ、その実現に必要な施策を策定し実施するとともに、市民・関係機関等と協働し、十分な連携を図ります。

また、本指針の理念に共感いただいた関係機関等の取組への支援を推進し

ます。

- ✓ 基本方針1：科学技術のまちを感じる機会を創出します。
- ✓ 基本方針2：ひとに寄り添う環境を整備します。
- ✓ 基本方針3：次代を担う人と地域を育みます。
- ✓ 基本方針4：科学技術で新たな選択肢を創出することに貢献します。

参考資料

1. 科学技術振興に関するアンケート

(1) 調査目的

- ① 第3期となる、つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定に向け、科学技術の発展や市が実施する事業について市民がどのように感じているのかを調査し、本指針に反映させ、より市民目線の事業を推進する。
- ② 科学技術に関する情報が市民に届くように、普段の情報の取得方法を把握し、発信の方法について検討する。

(2) 調査概要

- 調査対象：市内在住・在勤・在学者
- 回答者数：505人
- 調査期間：令和3年（2021年）9月21日（火）～10月11日（月）
- 調査方法：インターネットによる回答
- 調査周知：市報、市ウェブサイト、市SNS、メーリングリスト、各窓口センター

■ 回答者の属性

（内訳）

地区別	つくば市 筑波地区	つくば市 大穂地区	つくば市 豊里地区	つくば市 谷田部地区	つくば市 桜地区	つくば市 荃崎地区	つくば市 研究学園地区	つくば市 TX沿線地区	つくば 市外地区	合計
回答者数	26	22	24	44	45	22	134	53	135	505
割合	5.1%	4.4%	4.8%	8.7%	8.9%	4.4%	26.5%	10.5%	26.7%	100.0%

年代別	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
回答者数	7	99	133	126	103	34	3	505
割合	1.4%	19.6%	26.3%	25.0%	20.4%	6.7%	0.6%	100.0%

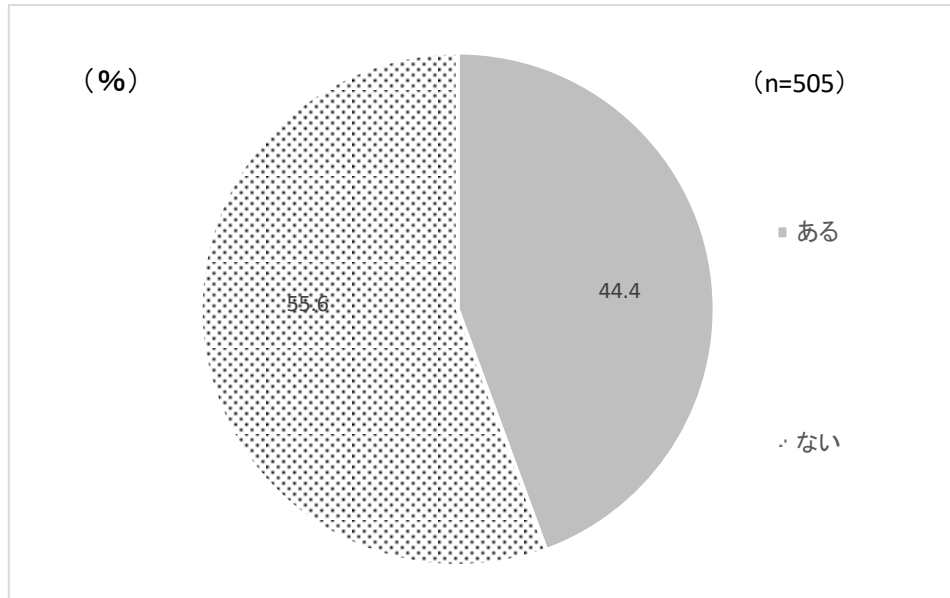
※端数の関係上、各項目の合計は必ずしも100%とならない

(3) アンケート結果

1) 全体

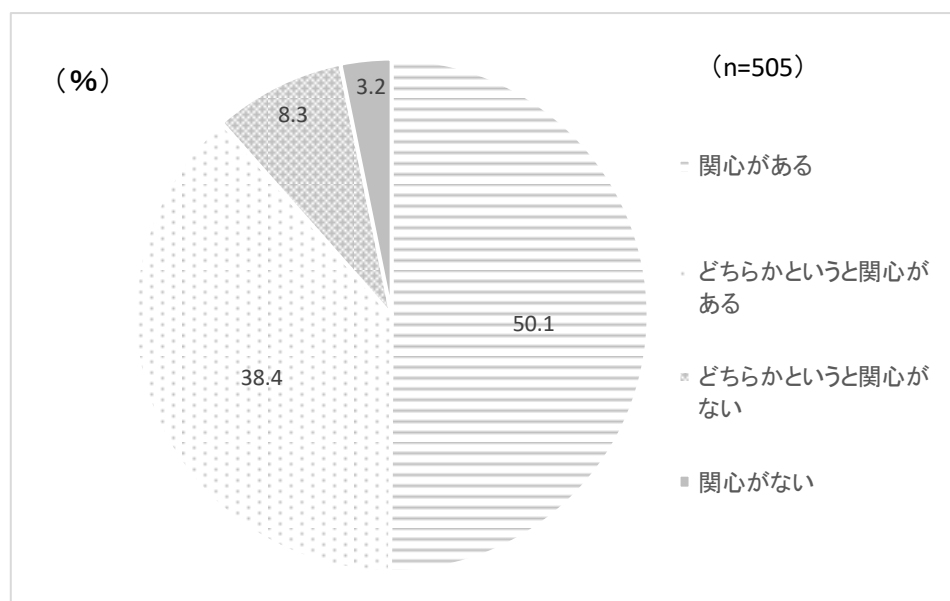
① 研究に携わる職業の経験

- ・回答者のうち、44.4%が研究に携わる職業経験をもっています。



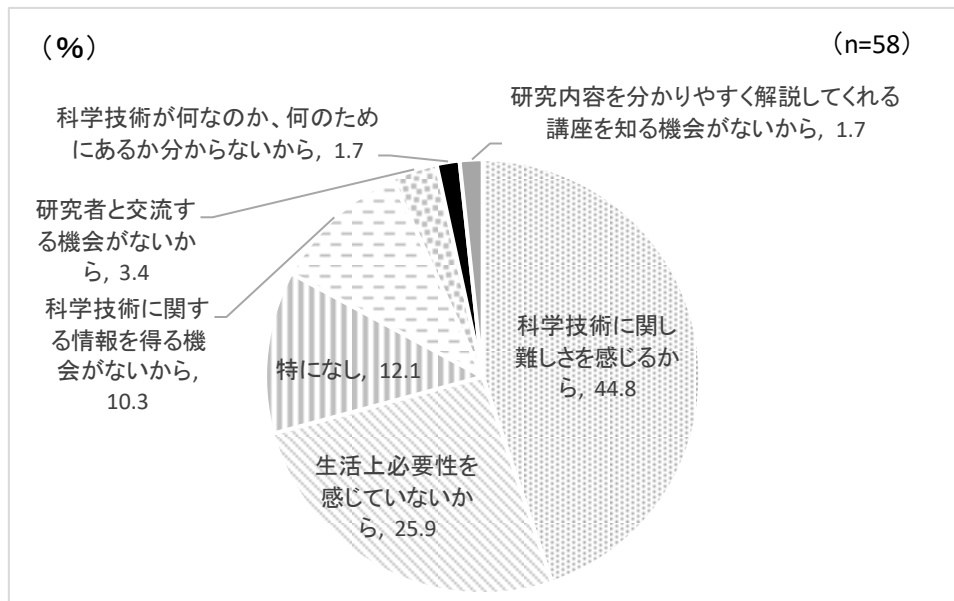
② 科学技術に関するニュースや話題への関心

- ・科学技術に関するニュースや話題への関心をみると、「関心がある」が50.1%、「どちらかというに関心がある」が38.4%となっています。
- ・「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計は約9割となっています。



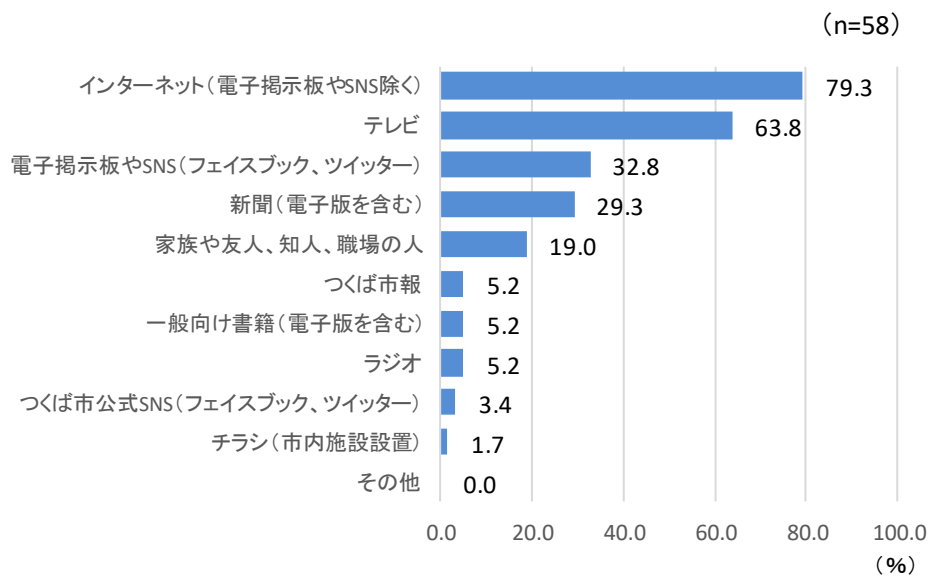
③ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がない」、「どちらかというと関心がない」と答えた方の、科学技術に関心がない理由

- 科学技術に関するニュースや話題に関心がない理由をみると、「科学技術に関し難しさを感じるから」が 44.8%、「生活上必要性を感じていないから」が 25.9%となっています。



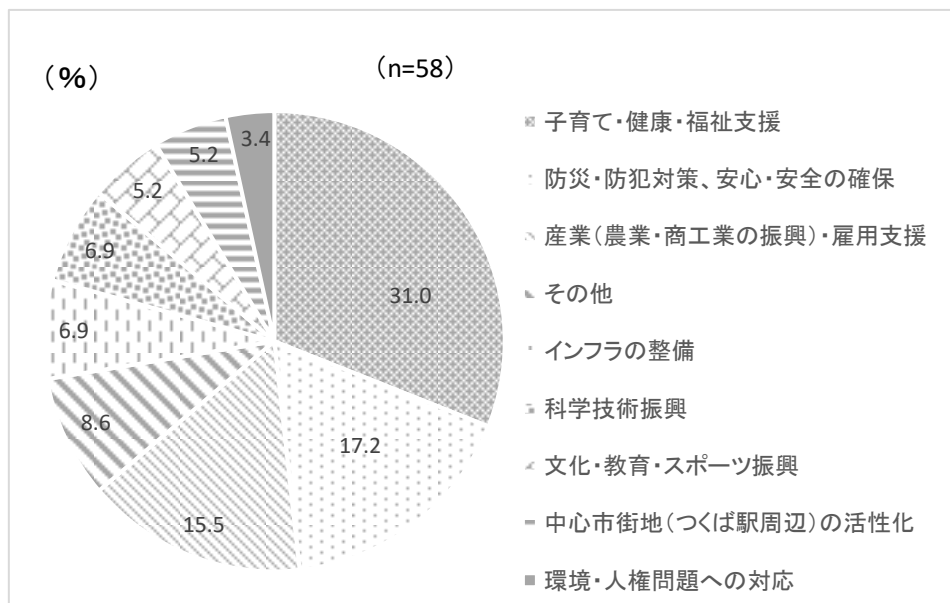
④ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がない」、「どちらかというに関心がない」と答えた方の、普段一般的な身の回りの情報を得る方法（3つまで）

- ・ 普段における一般的な身の回りの情報の入手方法をみると、「インターネット（電子掲示板やSNSを除く）」が約8割と最も多く、次いで「テレビ」が6割超となっています。



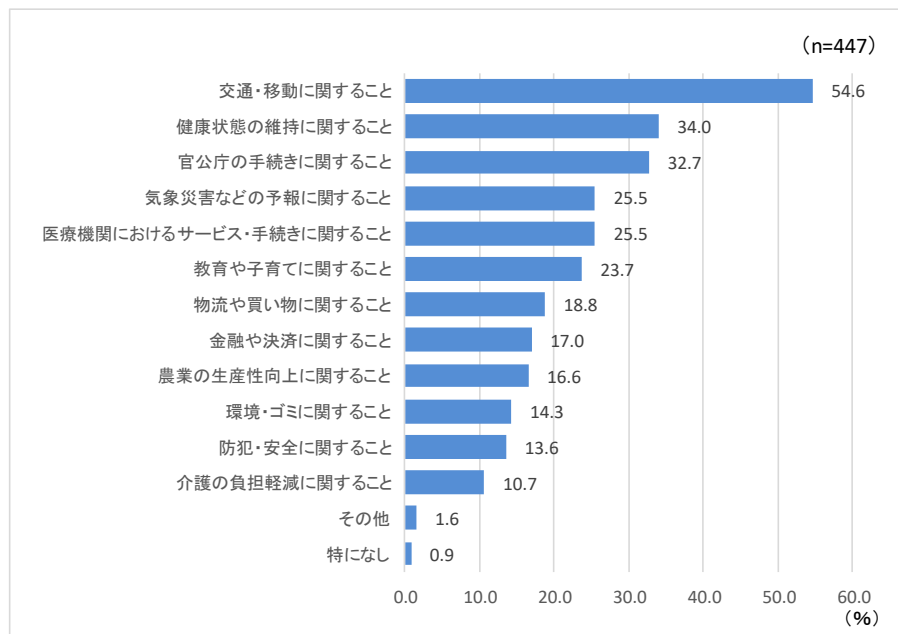
⑤ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がない」、「どちらかというに関心がない」と答えた方の、市が力を入れるべき事業

・市が力を入れるべき事業をみると、「子育て・健康・福祉支援」が約3割と最も多く、次いで「防災・防犯対策、安心・安全の確保」、「産業（農業・商工業の振興）・雇用支援」となっています。



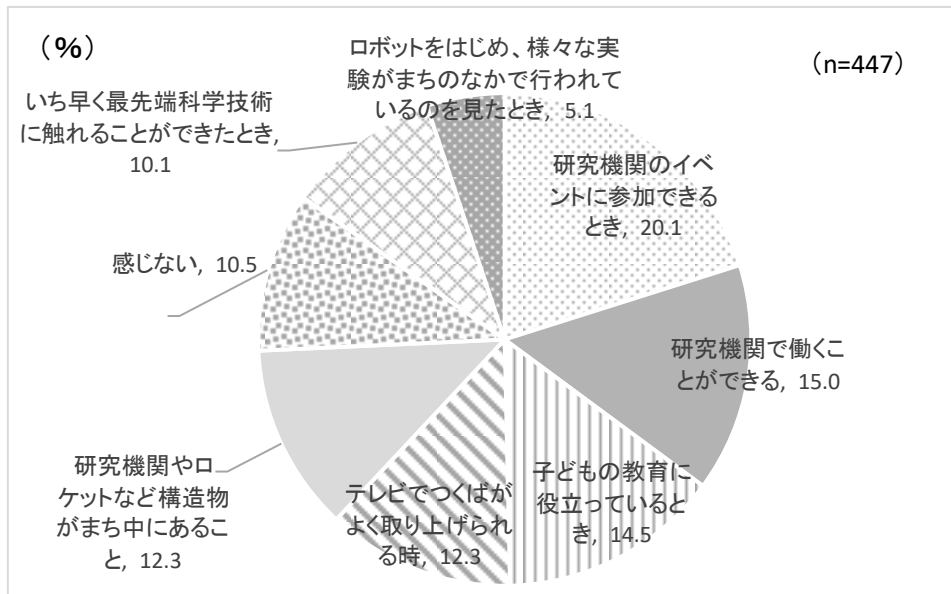
⑥ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、IT や AI、ビッグデータなど、新しい技術や研究成果により、将来的に便利になっていくことを期待する分野（3つまで）

- ・新しい技術や研究成果により将来的に便利になることを期待する分野は、「交通・移動に関すること」が5割超と最も多く、次いで「健康状態の維持に関すること」、「官公庁の手続きに関すること」となっています。



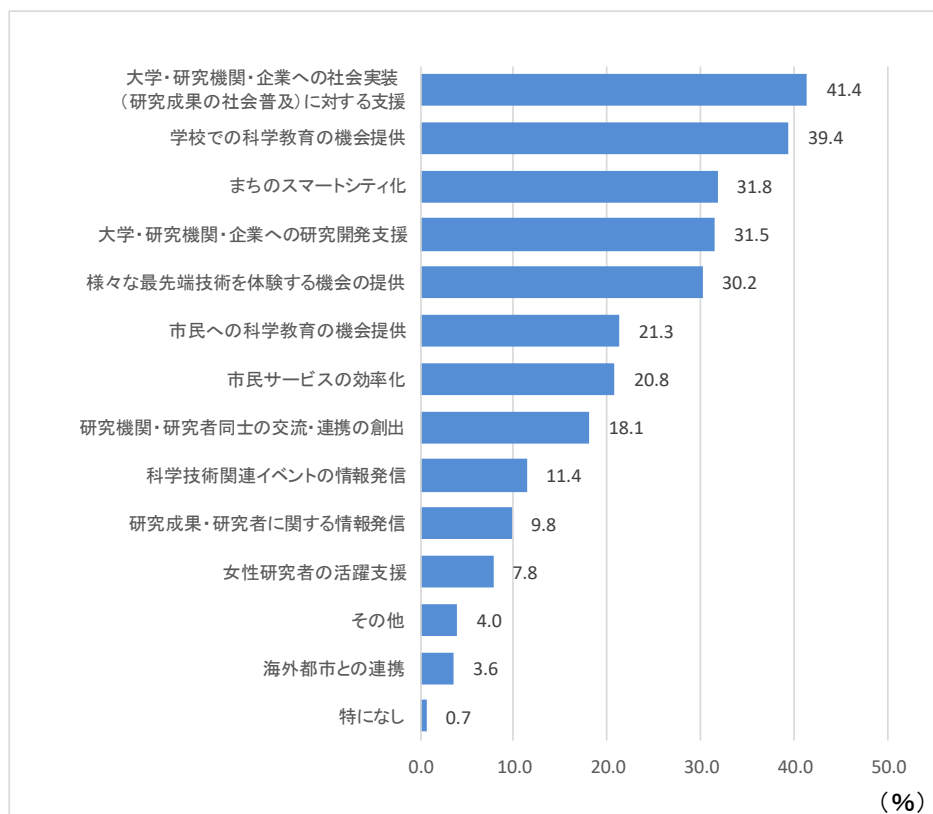
⑦ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、つくば市が科学のまちで良かったと感じるとき

- つくば市が科学のまちで良かったと感じるときは、「研究機関のイベントに参加できる」が2割と最も多く、次いで「研究機関で働くことができる」、「子どもの教育に役立っているとき」となっています。



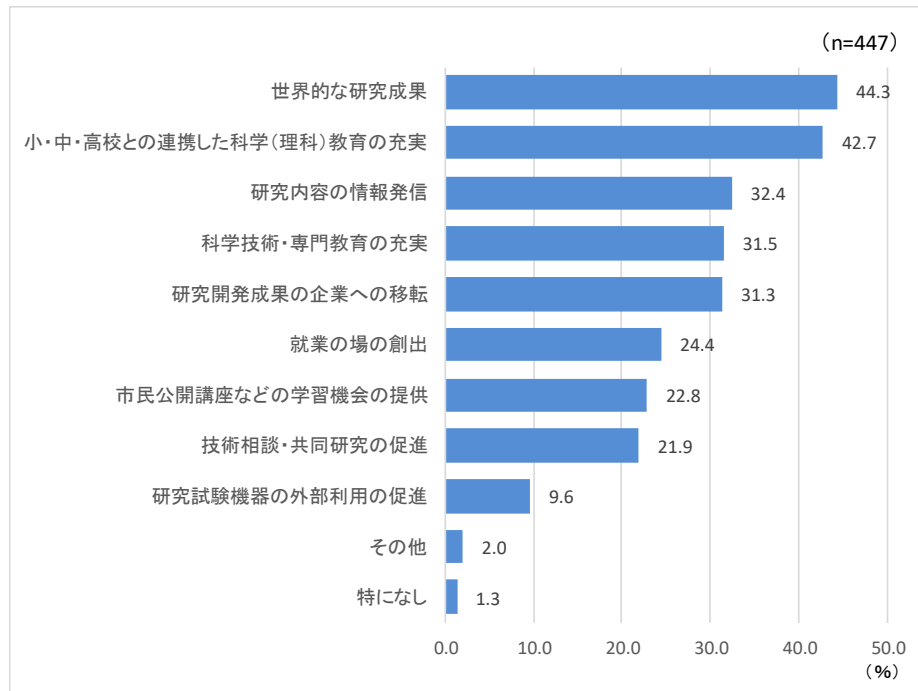
⑧ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、「科学のまち」として、つくば市が取り組むべきこと（3つまで）

・「科学のまち」として、つくば市が取り組むべきことをみると、「大学・研究機関・企業への社会実装に対する支援」が4割超、「学校での科学教育の機会提供」が約4割となっています。



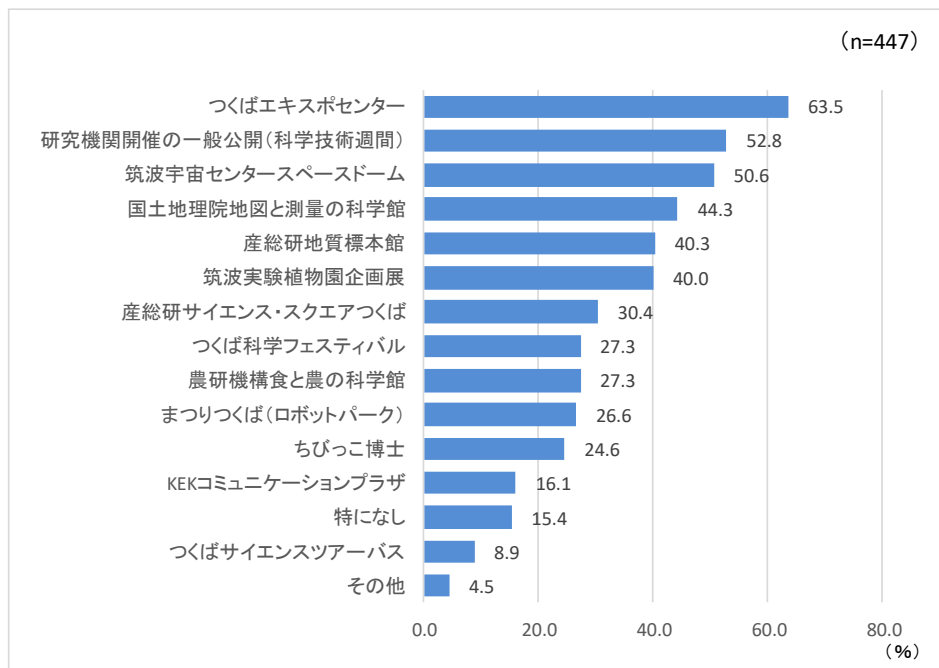
⑨ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、市内大学・研究機関・企業などに期待すること（3つまで）

- ・市内大学・研究機関・企業などに期待することをみると、「世界的な研究成果」と「小・中・高校との連携した科学（理科）教育の充実」が4割超となっています。



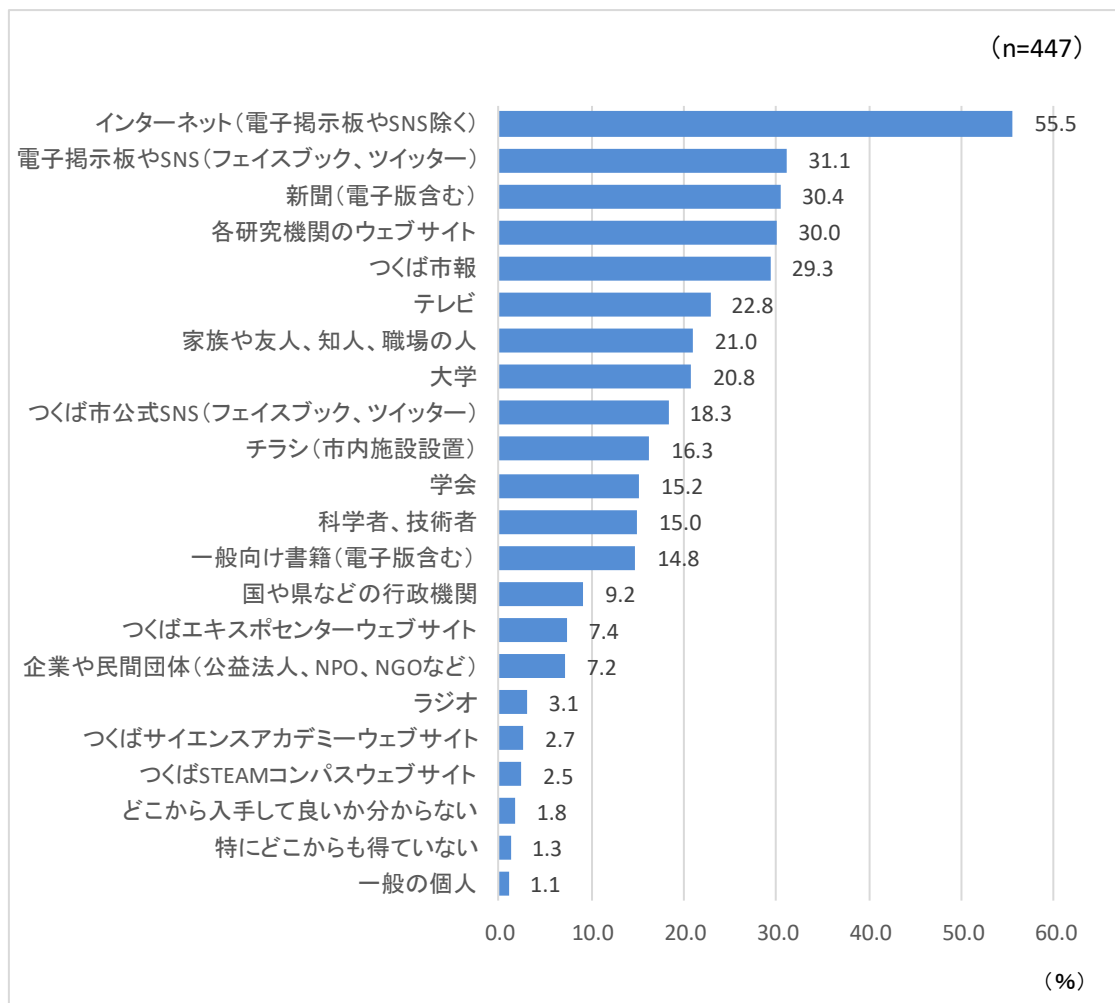
⑩ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、過去に参加又は見学したイベント（複数回答）

- ・過去に参加、または見学したイベントをみると、「つくばエキスポセンター」が6割超と最も多く、次いで「研究機関開催の一般公開（科学技術週間）」、「筑波宇宙センタースペースドーム」となっています。



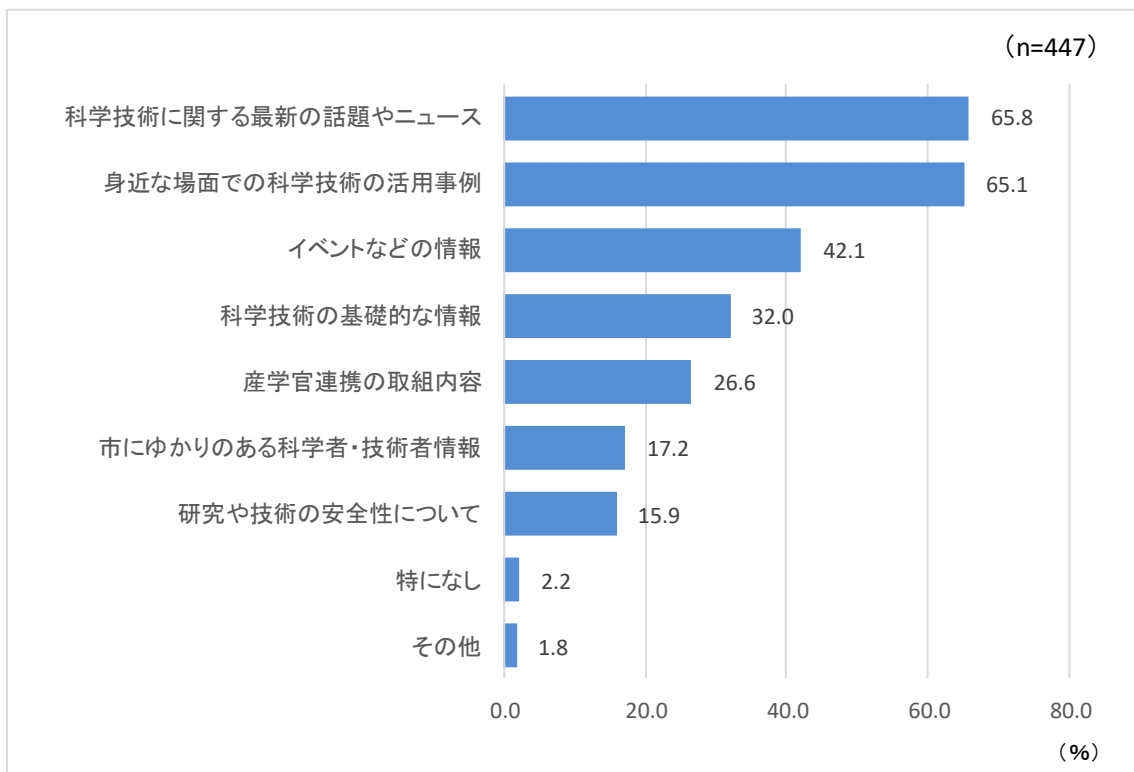
⑪ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、普段、科学技術に関する情報を得る方法（複数回答）

- ・ 普段の科学技術に関する情報を得る方法（媒体）をみると、「インターネット」が5割超と最も多く、次いで「電子掲示板やSNS」、「新聞（電子版含む）」、「各研究機関のウェブサイト」、「つくば市報」となっています。



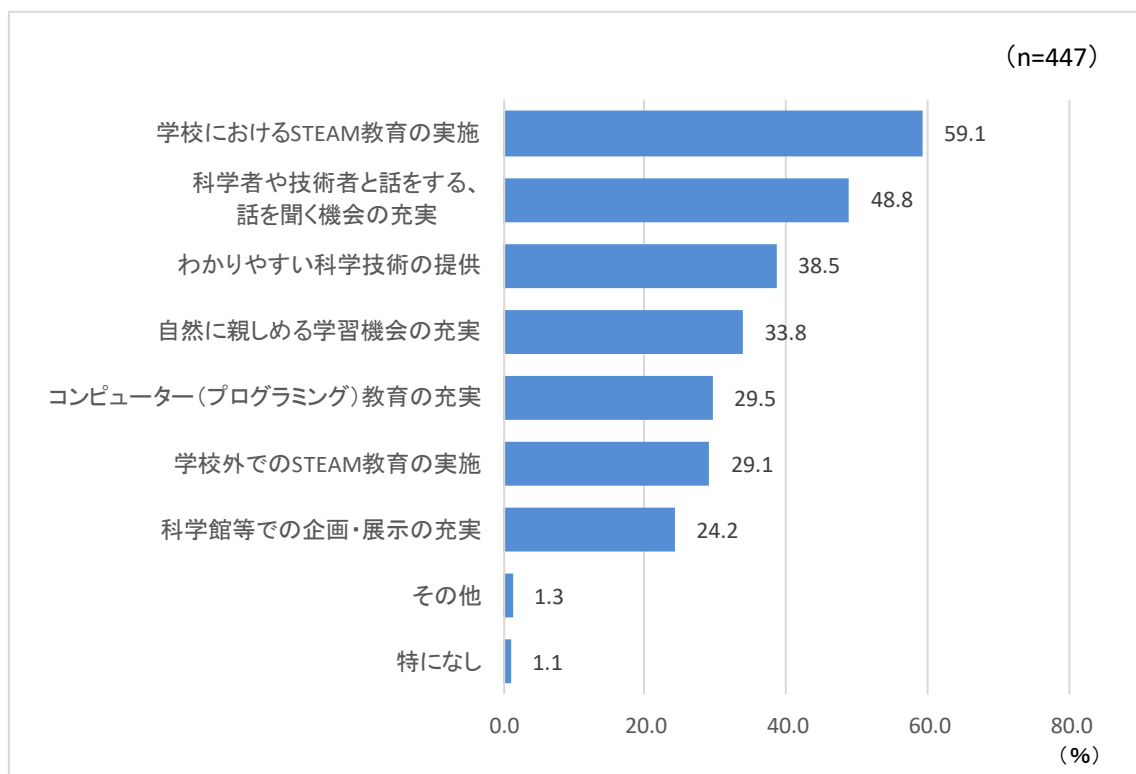
⑫ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、科学技術に関して発信されることを期待する情報（複数回答）

- 科学技術に関して発信されることを期待する情報は「科学技術に関する最新の話題やニュース」と「身近な場面での科学技術の活用事例」が6割超となっており、「イベントなどの情報」より上位となっています。



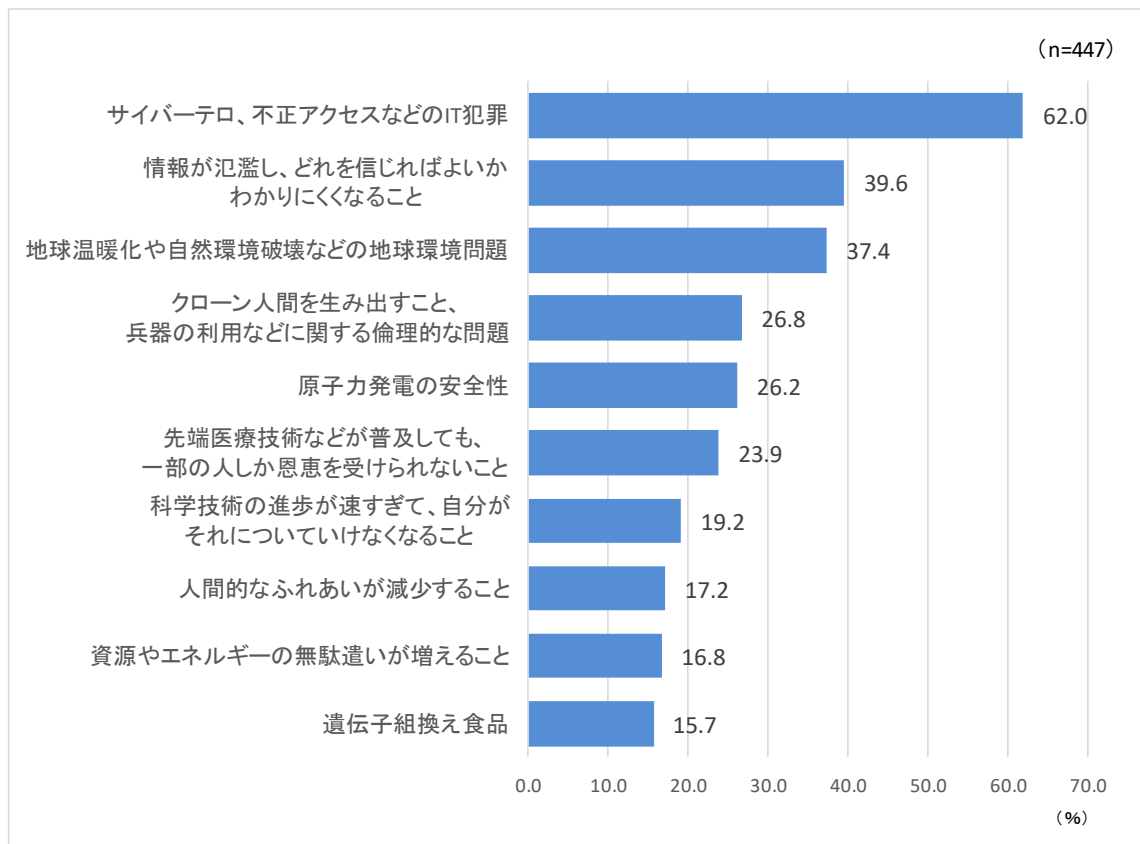
⑬ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、次世代を担う人材育成について、科学技術教育として行った方が良いこと（3つまで）

・次世代を担う人材育成について、科学技術教育として行った方が良いことをみると、「学校における STEAM 教育の実施」が約6割と最も多く、次いで「科学や技術者と話をする、話を聞く機会の充実」、「わかりやすい科学技術の提供」となっています。



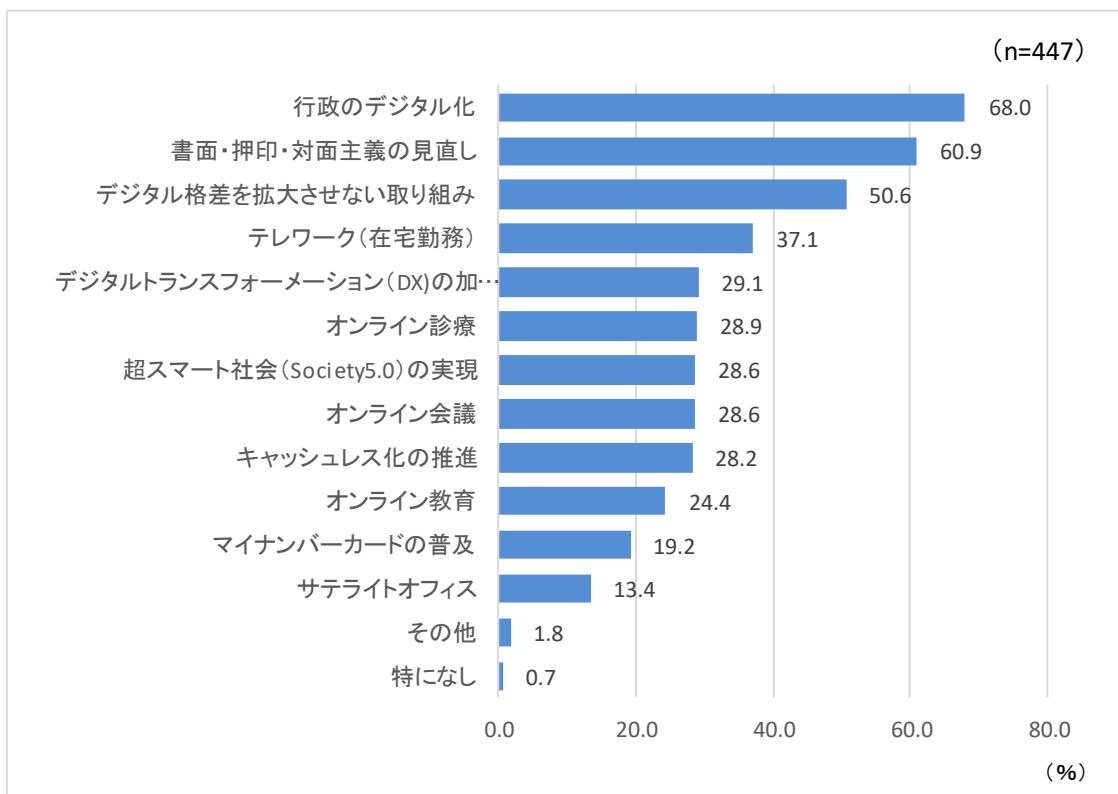
⑭ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、科学技術の健全な発展により不安のある分野（複数回答、上位10項目）

- 科学技術の健全な発展により不安のある分野をみると、「サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪」が6割超と最も多く、次いで、「情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくくなること」、「地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題」となっています。



⑮ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、デジタル化において重要だと思うもの（複数回答）

- ・デジタル化において重要だと思うものをみると、「行政のデジタル化」が7割弱と最も多く、次いで「書面・押印・対面主義の見直し」、「デジタル格差を拡大させない取組」となっています。



⑩ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、市が取り組んでいる事業の中で知っているもの（複数回答）

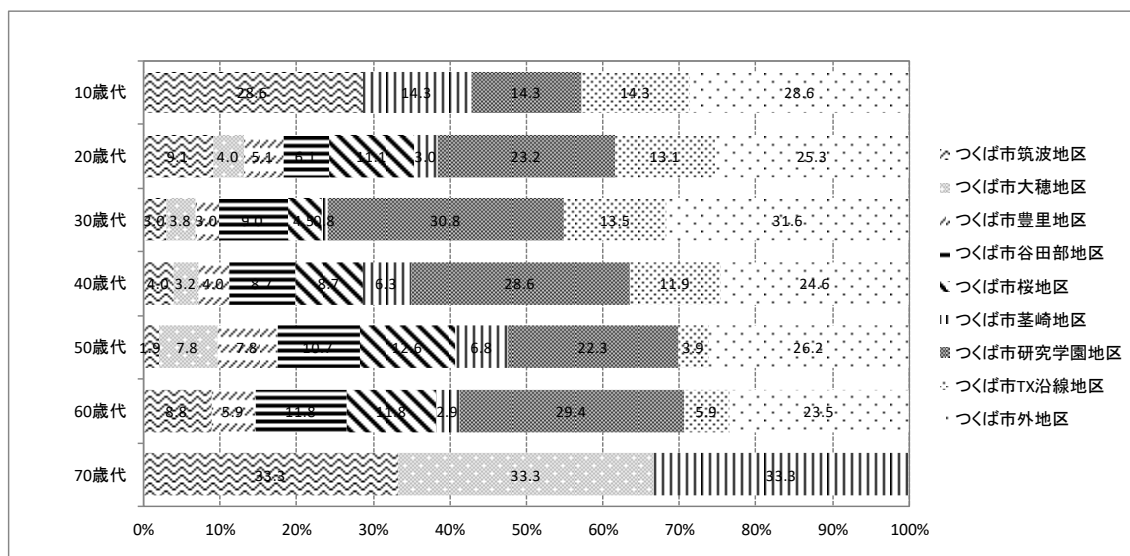
- ・自分が知っている市が取り組んでいる事業をみると、「セグウェイなどのモビリティ実証実験」が約7割と最も多く、次いで「ちびっこ博士」、「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合開催」となっています。

知っている市が取り組んでいる事業	割合(%)
セグウェイなどのモビリティ実証実験	70.7
ちびっこ博士	51.9
G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催	45.9
サイエンスカフェの実施	45.0
スマートシティ/スーパーシティ推進	42.3
つくばフェスティバル	41.6
スタートアップパークでのスタートアップ支援	37.4
つくばSociety5.0社会実装トライアル支援事業	37.1
G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合開催	35.8
つくば科学フェスティバル	35.8
つくばチャレンジ	31.3
つくば国際戦略総合特区プロジェクト	30.6
小中学校での研究者による出前レクチャー	30.6
情報オリンピックや科学の甲子園などの開催	25.7
つくば科学教育マイスター	23.5
海外都市との連携	22.4
体験型科学教育事業[つくばSTEAMコンパス]	18.1
科学技術モニュメント「未来への道」の整備(中央公園)	15.7
研究者のロールモデル紹介(市HP、常陽リビング)	14.3
特になし	10.3

2) 年代別 (単位: %)

① 回答者の住まい

	つくば市筑波地区	つくば市大穂地区	つくば市豊里地区	つくば市谷田部地区	つくば市桜地区	つくば市荻崎地区	つくば市研究学園地区	つくば市TX沿線地区	つくば市外地区
全体 (n=505)	5.1	4.4	4.8	8.7	8.9	4.4	26.5	10.5	26.7
20歳代以下 (n=106)	10.4	3.8	4.7	5.7	10.4	3.8	22.6	13.2	25.5
30歳代 (n=133)	3.0	3.8	3.0	9.0	4.5	0.8	30.8	13.5	31.6
40歳代 (n=126)	4.0	3.2	4.0	8.7	8.7	6.3	28.6	11.9	24.6
50歳代 (n=103)	1.9	7.8	7.8	10.7	12.6	6.8	22.3	3.9	26.2
60歳代以上 (n=37)	10.8	2.7	5.4	10.8	10.8	5.4	27.0	5.4	21.6



② 研究に携わる職業の経験

	ある	ない
全体 (n=505)	44.4	55.6
20歳代以下 (n=106)	27.4	72.6
30歳代 (n=133)	44.4	55.6
40歳代 (n=126)	50.8	49.2
50歳代 (n=103)	49.5	50.5
60歳代以上 (n=37)	56.8	43.2

③ 科学技術に関するニュースや話題への関心

	関心がある	どちらかというと関心がある	どちらかというと関心がない	関心がない
全体(n=505)	50.1	38.4	8.3	3.2
20歳代以下(n=106)	48.1	39.6	8.5	3.8
30歳代(n=133)	50.4	36.8	9.8	3.0
40歳代(n=126)	49.2	39.7	5.6	5.6
50歳代(n=103)	45.6	43.7	10.7	0.0
60歳代以上(n=37)	70.3	21.6	5.4	2.7

④ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がない」、「どちらかというと関心がない」と答えた方の、科学技術に関心がない理由

	全体 (n=58)	20歳代以下 (n=13)	30歳代 (n=17)	40歳代 (n=14)	50歳代 (n=11)	60歳代以上 (n=3)
科学技術に関する情報を得る機会がないから	10.3	15.4	11.8	14.3	0.0	0.0
科学技術に関し難しさを感じるから	44.8	30.8	35.3	35.7	72.7	100.0
科学技術が何なのか、何のためにあるか分からないから	1.7	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
生活上必要性を感じていないから	25.9	23.1	35.3	21.4	27.3	0.0
研究者と交流する機会がないから	3.4	7.7	0.0	7.1	0.0	0.0
研究内容を分かりやすく解説してくれる講座を知る機会がないから	1.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	12.1	15.4	17.6	14.3	0.0	0.0

- ⑤ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がない」、「どちらかというに関心がない」と答えた方の、普段一般的な身の回りの情報を得る方法（3つまで）

	全体 (n=58)	20歳代以下 (n=13)	30歳代 (n=17)	40歳代 (n=14)	50歳代 (n=11)	60歳代以上 (n=3)
テレビ	63.8	61.5	47.1	64.3	81.8	100.0
ラジオ	5.2	0.0	5.9	7.1	9.1	0.0
新聞(電子版を含む)	29.3	15.4	17.6	28.6	45.5	100.0
一般向け書籍(電子版を含む)	5.2	7.7	11.8	0.0	0.0	0.0
インターネット(電子掲示板やSNS除く)	79.3	53.8	88.2	85.7	90.9	66.7
電子掲示板やSNS(フェイスブック、ツイッター)	32.8	53.8	41.2	21.4	18.2	0.0
家族や友人、知人、職場の人	19.0	7.7	17.6	21.4	27.3	33.3
つくば市報	5.2	7.7	5.9	0.0	9.1	0.0
つくば市公式SNS(フェイスブック、ツイッター)	3.4	7.7	0.0	0.0	9.1	0.0
チラシ(市内施設設置)	1.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- ⑥ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がない」、「どちらかというに関心がない」と答えた方の、市が力を入れるべき事業

	全体 (n=58)	20歳代以下 (n=13)	30歳代 (n=17)	40歳代 (n=14)	50歳代 (n=11)	60歳代以上 (n=3)
防災・防犯対策、安心・安全の確保	17.2	0.0	17.6	21.4	18.2	66.7
環境・人権問題への対応	3.4	7.7	5.9	0.0	0.0	0.0
子育て・健康・福祉支援	31.0	38.5	29.4	7.1	54.5	33.3
産業(農業・商工業の振興)・雇用支援	15.5	30.8	17.6	7.1	9.1	0.0
インフラの整備	6.9	7.7	5.9	7.1	9.1	0.0
文化・教育・スポーツ振興	5.2	7.7	0.0	7.1	9.1	0.0
科学技術振興	6.9	0.0	11.8	14.3	0.0	0.0
中心市街地(つくば駅周辺)の活性化	5.2	7.7	0.0	14.3	0.0	0.0
その他	8.6	0.0	11.8	21.4	0.0	0.0

- ⑦ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、ITやAI、ビッグデータなど、新しい技術や研究成果により、将来的に便利になっていくことを期待する分野（3つまで）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
交通・移動に関すること	54.6	58.1	43.1	57.1	60.9	58.1
医療機関におけるサービス・手続きに関すること	25.5	16.1	25.0	33.9	20.7	16.1
健康状態の維持に関すること	34.0	26.9	32.8	27.7	43.5	26.9
介護の負担軽減に関すること	10.7	6.5	7.8	15.2	16.3	6.5
気象災害などの予報に関すること	25.5	19.4	23.3	24.1	38.0	19.4
官公庁の手続きに関すること	32.7	34.4	34.5	33.0	27.2	34.4
金融や決済に関すること	17.0	30.1	19.8	10.7	10.9	30.1
農業の生産性向上に関すること	16.6	19.4	11.2	20.5	14.1	19.4
物流や買い物に関すること	18.8	31.2	21.6	10.7	14.1	31.2
教育や子育てに関すること	23.7	22.6	34.5	25.9	14.1	22.6
環境・ゴミに関すること	14.3	12.9	13.8	14.3	17.4	12.9
防犯・安全に関すること	13.6	6.5	9.5	19.6	17.4	6.5
その他	1.6	2.2	2.6	0.9	1.1	2.2
特になし	0.9	0.0	2.6	0.0	1.1	0.0

- ⑧ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、つくば市が科学のまちで良かったと感じるとき

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
研究機関のイベントに参加できる時	20.1	21.5	20.7	21.4	18.5	14.7
子どもの教育に役立っている時	14.5	3.2	17.2	18.8	15.2	20.6
いち早く最先端科学技術に触れることができたとき	10.1	10.8	9.5	9.8	8.7	14.7
テレビでつくばがよく取り上げられる時	12.3	14.0	6.0	13.4	18.5	8.8
研究機関やロケットなど構造物がまち中にあること	12.3	16.1	12.9	10.7	12.0	5.9
ロボットをはじめ、様々な実験がまちなかで 行われているのを見たとき	5.1	6.5	5.2	5.4	2.2	8.8
研究機関で働くことができる	15.0	12.9	15.5	12.5	17.4	20.6
感じない	10.5	15.1	12.9	8.0	7.6	5.9

- ⑨ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、「科学のまち」として、つくば市が取り組むべきこと（3つまで）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
学校での科学教育の機会提供	39.4	32.3	42.2	43.8	40.2	32.4
市民への科学教育の機会提供	21.3	23.7	17.2	16.1	32.6	14.7
大学・研究機関・企業への研究開発支援	31.5	39.8	33.6	33.9	17.4	32.4
大学・研究機関・企業への社会実装(研究成果の社会普及)に対する支援	41.4	40.9	36.2	42.0	47.8	41.2
女性研究者の活躍支援	7.8	6.5	11.2	7.1	5.4	8.8
科学技術関連イベントの情報発信	11.4	10.8	6.9	13.4	12.0	20.6
研究成果・研究者に関する情報発信	9.8	15.1	8.6	8.9	6.5	11.8
様々な最先端技術を体験する機会の提供	30.2	20.4	27.6	38.4	35.9	23.5
研究機関・研究者同士の交流・連携の創出	18.1	8.6	26.7	16.1	16.3	26.5
市民サービスの効率化	20.8	18.3	25.0	21.4	18.5	17.6
海外都市との連携	3.6	6.5	3.4	0.0	6.5	0.0
まちのスマートシティ化	31.8	32.3	35.3	29.5	27.2	38.2
その他	4.0	5.4	1.7	5.4	5.4	0.0
特になし	0.7	0.0	0.9	0.9	1.1	0.0

- ⑩ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、市内大学・研究機関・企業などに期待すること（3つまで）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
世界的な研究成果	44.3	44.1	42.2	43.8	43.5	55.9
研究内容の情報発信	32.4	35.5	31.0	32.1	35.9	20.6
技術相談・共同研究の促進	21.9	20.4	23.3	25.0	21.7	11.8
科学技術・専門教育の充実	31.5	31.2	35.3	29.5	30.4	29.4
研究開発成果の企業への移転	31.3	19.4	23.3	34.8	42.4	50.0
研究試験機器の外部利用の促進	9.6	10.8	12.1	5.4	9.8	11.8
就業の場の創出	24.4	19.4	27.6	27.7	23.9	17.6
小・中・高校との連携した科学(理科)教育の充実	42.7	39.8	44.8	46.4	39.1	41.2
市民公開講座などの学習機会の提供	22.8	21.5	18.1	27.7	20.7	32.4
その他	2.0	2.2	3.4	0.0	3.3	0.0
特になし	1.3	0.0	2.6	1.8	1.1	0.0

- ⑪ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、過去に参加又は見学したイベント（複数回答）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
研究機関開催の一般公開(科学技術週間)	52.8	29.0	33.6	69.6	68.5	85.3
ちびっこ博士	24.6	11.8	15.5	41.1	33.7	11.8
まつりつくば(ロボットパーク)	26.6	14.0	21.6	36.6	34.8	23.5
筑波実験植物園企画展	40.0	20.4	34.5	52.7	43.5	61.8
KEKコミュニケーションプラザ	16.1	5.4	10.3	25.9	18.5	26.5
農研機構食と農の科学館	27.3	15.1	10.3	42.0	39.1	38.2
筑波宇宙センタースペースドーム	50.6	40.9	42.2	64.3	54.3	50.0
国土地理院地図と測量の科学館	44.3	28.0	26.7	60.7	56.5	61.8
産総研サイエンス・スクエアつくば	30.4	15.1	19.0	49.1	33.7	41.2
産総研地質標本館	40.3	24.7	28.4	51.8	51.1	55.9
つくば科学フェスティバル	27.3	12.9	15.5	39.3	37.0	41.2
つくばエキスポセンター	63.5	45.2	56.0	74.1	72.8	79.4
つくばサイエンスツアーバス	8.9	2.2	7.8	16.1	8.7	8.8
その他	4.5	1.1	6.0	8.0	2.2	2.9
特になし	15.4	25.8	25.9	6.3	8.7	0.0

- ⑫ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、普段、科学技術に関する情報を得る方法（複数回答）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
つくば市報	29.3	11.8	25.0	41.1	34.8	38.2
つくば市公式SNS(フェイスブック、ツイッター)	18.3	22.6	19.0	22.3	12.0	8.8
チラシ(市内施設設置)	16.3	9.7	17.2	22.3	14.1	17.6
つくばサイエンスアカデミーウェブサイト	2.7	1.1	2.6	4.5	3.3	0.0
つくばエキスポセンターウェブサイト	7.4	1.1	9.5	11.6	6.5	5.9
つくばSTEAMコンパスウェブサイト	2.5	0.0	5.2	3.6	1.1	0.0
各研究機関のウェブサイト	30.0	19.4	26.7	34.8	31.5	50.0
新聞(電子版含む)	30.4	17.2	23.3	30.4	43.5	55.9
ラジオ	3.1	1.1	2.6	4.5	4.3	2.9
テレビ	22.8	25.8	16.4	19.6	29.3	29.4
一般向け書籍(電子版含む)	14.8	18.3	20.7	9.8	8.7	17.6
インターネット(電子掲示板やSNS除く)	55.5	47.3	55.2	60.7	57.6	55.9
電子掲示板やSNS(フェイスブック、ツイッター)	31.1	45.2	32.8	37.5	13.0	14.7
国や県などの行政機関	9.2	8.6	6.0	13.4	7.6	11.8
企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)	7.2	7.5	7.8	7.1	6.5	5.9
大学	20.8	28.0	21.6	18.8	14.1	23.5
学会	15.2	12.9	14.7	15.2	16.3	20.6
科学者、技術者	15.0	11.8	15.5	15.2	17.4	14.7
家族や友人、知人、職場の人	21.0	15.1	29.3	25.9	13.0	14.7
一般の個人	1.1	0.0	0.0	2.7	1.1	2.9
どこから入手して良いか分からない	1.8	1.1	3.4	1.8	1.1	0.0
特にどこからも得ていない	1.3	1.1	1.7	0.9	2.2	0.0

- ⑬ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、科学技術に関して発信されることを期待する情報（複数回答）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
身近な場面での科学技術の活用事例	65.1	67.7	62.9	68.8	65.2	52.9
科学技術に関する最新の話題やニュース	65.8	69.9	62.1	62.5	64.1	82.4
イベントなどの情報	42.1	25.8	44.0	50.0	47.8	38.2
研究や技術の安全性について	15.9	12.9	12.9	18.8	22.8	5.9
科学技術の基礎的な情報	32.0	29.0	31.9	33.0	32.6	35.3
産学官連携の取組内容	26.6	23.7	32.8	22.3	25.0	32.4
市にゆかりのある科学者・技術者情報	17.2	9.7	19.8	20.5	18.5	14.7
その他	1.8	0.0	1.7	3.6	2.2	0.0
特になし	2.2	4.3	0.9	2.7	1.1	2.9

- ⑭ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、次世代を担う人材育成について、科学技術教育として行った方が良いこと（3つまで）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
学校におけるSTEAM教育の実施	59.1	59.1	65.5	51.8	57.6	64.7
学校外でのSTEAM教育の実施	29.1	32.3	33.6	20.5	28.3	35.3
科学者や技術者と話す、話を聞く機会の充実	48.8	38.7	50.9	53.6	50.0	50.0
わかりやすい科学技術の提供	38.5	31.2	37.9	42.9	40.2	41.2
自然に親しめる学習機会の充実	33.8	33.3	31.0	37.5	38.0	20.6
コンピューター(プログラミング)教育の充実	29.5	37.6	30.2	27.7	25.0	23.5
科学館等での企画・展示の充実	24.2	15.1	25.9	26.8	26.1	29.4
その他	1.3	0.0	1.7	2.7	1.1	0.0
特になし	1.1	2.2	0.0	2.7	0.0	0.0

- ⑮ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、科学技術の健全な発展により不安のある分野（複数回答）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪	62.0	47.3	60.3	67.9	71.7	61.8
遺伝子組換え食品	15.7	7.5	14.7	17.9	22.8	14.7
原子力発電の安全性	26.2	16.1	23.3	30.4	33.7	29.4
志げにやエネルギーの無駄遣いが増えること	16.8	8.6	18.1	17.0	22.8	17.6
地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題	37.4	25.8	33.6	45.5	41.3	44.1
身近に自然を感じる事が少なくなる事	11.4	9.7	12.1	9.8	15.2	8.8
情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくくなる事	39.6	36.6	39.7	38.4	44.6	38.2
人間的なふれあいが減少すること	17.2	11.8	16.4	17.9	21.7	20.6
クローン人間を生み出すこと、兵器の利用などに関する倫理的な問題	26.8	17.2	20.7	34.8	32.6	32.4
人間が怠惰になること	9.2	7.5	9.5	11.6	8.7	5.9
科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなる事	19.2	12.9	19.0	20.5	21.7	26.5
人工知能(AI)などの発達により、人間の仕事が奪われること	10.7	7.5	8.6	11.6	17.4	5.9
先端医療技術などが普及しても、一部の人は恩恵を受けられないこと	23.9	15.1	22.4	31.3	25.0	26.5
自動運転技術	6.7	5.4	7.8	4.5	10.9	2.9
ゲノム編集医療	7.6	4.3	6.0	8.9	10.9	8.8
ゲノム編集食品	6.0	0.0	6.0	7.1	10.9	5.9
仮想通貨(暗号資産)	12.8	5.4	8.6	18.8	15.2	20.6
農薬の安全性	8.5	4.3	9.5	7.1	13.0	8.8
ナノテクノロジー	2.2	2.2	2.6	2.7	2.2	0.0
携帯電話(5G)	2.0	1.1	2.6	2.7	2.2	0.0
水素エネルギー	2.0	1.1	0.9	2.7	3.3	2.9
ゲノム解析	4.0	4.3	5.2	4.5	2.2	2.9
ICタグ	2.0	0.0	2.6	2.7	1.1	5.9
量子技術	1.8	1.1	2.6	2.7	1.1	0.0
その他	0.7	1.1	0.0	1.8	0.0	0.0
特に不安を感じない	8.7	11.8	12.1	5.4	5.4	8.8
わからない	0.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0

- ⑩ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、デジタル化において重要だと思うもの（複数回答）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
テレワーク(在宅勤務)	37.1	35.5	44.8	42.9	23.9	32.4
行政のデジタル化	68.0	72.0	76.7	56.3	65.2	73.5
書面・押印・対面主義の見直し	60.9	63.4	75.9	55.4	50.0	50.0
オンライン診療	28.9	22.6	28.4	32.1	26.1	44.1
キャッシュレス化の推進	28.2	33.3	33.6	26.8	17.4	29.4
オンライン教育	24.4	21.5	27.6	31.3	17.4	17.6
オンライン会議	28.6	25.8	28.4	33.9	23.9	32.4
超スマート社会(Society5.0)の実現	28.6	29.0	31.9	30.4	20.7	32.4
デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速化	29.1	26.9	34.5	26.8	27.2	29.4
サテライトオフィス	13.4	9.7	19.0	13.4	12.0	8.8
マイナンバーカードの普及	19.2	20.4	24.1	12.5	16.3	29.4
デジタル格差を拡大させない取り組み	50.6	41.9	44.0	55.4	57.6	61.8
その他	1.8	3.2	1.7	1.8	1.1	0.0
特になし	0.7	0.0	1.7	0.9	0.0	0.0

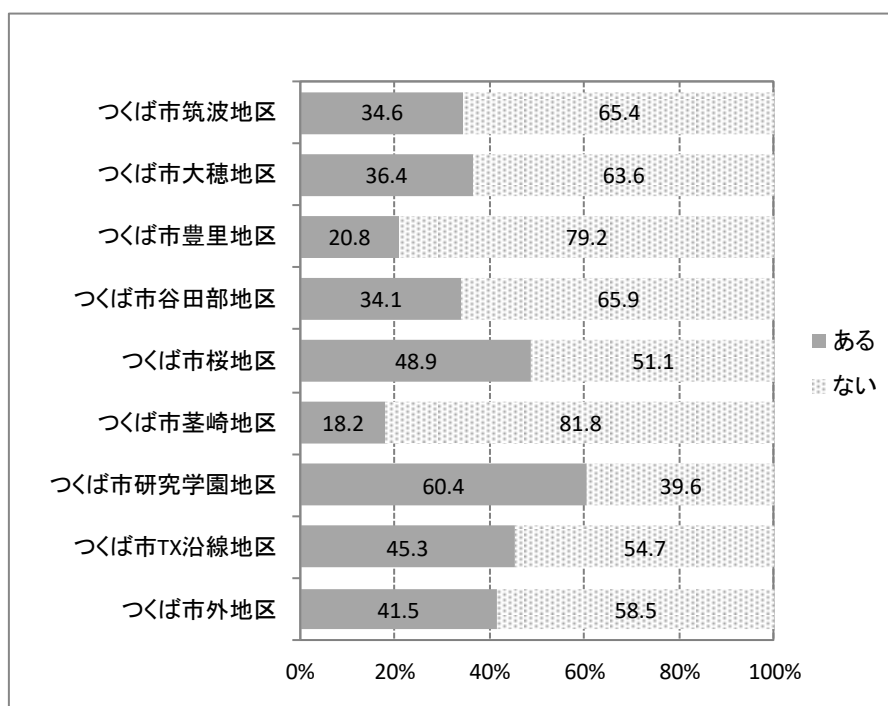
- ⑪ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、市が取り組んでいる事業の中で知っているもの（複数回答）

	全体 (n=447)	20歳代以下 (n=93)	30歳代 (n=116)	40歳代 (n=112)	50歳代 (n=92)	60歳代以上 (n=34)
つくばSociety5.0社会実装トライアル支援事業	37.1	23.7	37.9	46.4	41.3	29.4
セグウェイなどのモビリティ実証実験	70.7	57.0	61.2	77.7	82.6	85.3
つくばチャレンジ	31.3	15.1	30.2	42.0	41.3	17.6
スマートシティ/スーパーシティ推進	42.3	36.6	42.2	45.5	45.7	38.2
スタートアップパークでのスタートアップ支援	37.4	25.8	37.9	43.8	42.4	32.4
つくば国際戦略総合特区プロジェクト	30.6	12.9	27.6	39.3	37.0	44.1
研究者のロールモデル紹介(市HP、常陽リビング)	14.3	7.5	19.0	18.8	13.0	5.9
体験型科学教育事業[つくばSTEAMコンパス]	18.1	5.4	18.1	25.9	25.0	8.8
情報オリンピックや科学の甲子園などの開催	25.7	19.4	19.0	32.1	33.7	23.5
つくば科学教育マイスター	23.5	8.6	22.4	35.7	29.3	11.8
サイエンスカフェの実施	45.0	30.1	40.5	51.8	51.1	61.8
G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催	45.9	19.4	35.3	60.7	60.9	64.7
G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合開催	35.8	17.2	31.9	46.4	44.6	41.2
海外都市との連携	22.4	14.0	23.3	25.9	25.0	23.5
小中学校での研究者による出前レクチャー	30.6	18.3	21.6	37.5	45.7	32.4
ちびっこ博士	51.9	36.6	40.5	67.9	62.0	52.9
つくばフェスティバル	41.6	25.8	34.5	56.3	48.9	41.2
つくば科学フェスティバル	35.8	21.5	25.0	47.3	48.9	38.2
科学技術モニュメント「未来への道」の整備(中央公園)	15.7	6.5	15.5	19.6	20.7	14.7
特になし	10.3	19.4	14.7	6.3	4.3	0.0

3) 居住地別 (単位: %)

① 研究に携わる職業の経験

	ある	ない
全体 (n=505)	44.4	55.6
つくば市筑波地区 (n=26)	34.6	65.4
つくば市大穂地区 (n=22)	36.4	63.6
つくば市豊里地区 (n=24)	20.8	79.2
つくば市谷田部地区 (n=44)	34.1	65.9
つくば市桜地区 (n=45)	48.9	51.1
つくば市荃崎地区 (n=22)	18.2	81.8
つくば市研究学園地区 (n=134)	60.4	39.6
つくば市TX沿線地区 (n=53)	45.3	54.7
つくば市外地区 (n=135)	41.5	58.5



② 回答者の年代

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
全体 (n=505)	1.4	19.6	26.3	25.0	20.4	6.7	0.6	0.0	0.0
つくば市筑波地区 (n=26)	7.7	34.6	15.4	19.2	7.7	11.5	3.8	0.0	0.0
つくば市大穂地区 (n=22)	0.0	18.2	22.7	18.2	36.4	0.0	4.5	0.0	0.0
つくば市豊里地区 (n=24)	0.0	20.8	16.7	20.8	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0
つくば市谷田部地区 (n=44)	0.0	13.6	27.3	25.0	25.0	9.1	0.0	0.0	0.0
つくば市桜地区 (n=45)	0.0	24.4	13.3	24.4	28.9	8.9	0.0	0.0	0.0
つくば市荃崎地区 (n=22)	4.5	13.6	4.5	36.4	31.8	4.5	4.5	0.0	0.0
つくば市研究学園地区 (n=134)	0.7	17.2	30.6	26.9	17.2	7.5	0.0	0.0	0.0
つくば市TX沿線地区 (n=53)	1.9	24.5	34.0	28.3	7.5	3.8	0.0	0.0	0.0
つくば市外地区 (n=135)	1.5	18.5	31.1	23.0	20.0	5.9	0.0	0.0	0.0

③ 科学技術に関するニュースや話題への関心

	関心がある	どちらかというと関心がある	どちらかというと関心がない	関心がない
全体 (n=505)	50.1	38.4	8.3	3.2
つくば市筑波地区 (n=26)	38.5	30.8	19.2	11.5
つくば市大穂地区 (n=22)	27.3	68.2	4.5	0.0
つくば市豊里地区 (n=24)	25.0	54.2	20.8	0.0
つくば市谷田部地区 (n=44)	47.7	36.4	15.9	0.0
つくば市桜地区 (n=45)	48.9	42.2	8.9	0.0
つくば市荃崎地区 (n=22)	22.7	50.0	18.2	9.1
つくば市研究学園地区 (n=134)	56.0	40.3	3.0	0.7
つくば市TX沿線地区 (n=53)	52.8	32.1	11.3	3.8
つくば市外地区 (n=135)	59.3	30.4	4.4	5.9

④ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がない」、「どちらかというに関心がない」と答えた方の、科学技術に関心がない理由

	全体 (n=58)	つくば市 筑波地区 (n=8)	つくば市 大穂地区 (n=1)	つくば市 豊里地区 (n=5)	つくば市 谷田部地区 (n=7)	つくば市 桜地区 (n=4)	つくば市 釜崎地区 (n=6)	つくば市 研究学園地区 (n=5)	つくば市 TX沿線地区 (n=8)	つくば市 市外地区 (n=14)
科学技術に関する情報を得る機会がないから	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	12.5	28.6
科学技術に関し難しさを感ずるから	44.8	62.5	0.0	60.0	28.6	75.0	33.3	60.0	25.0	42.9
科学技術が何なのか、何のためにあるか分からないから	1.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活上必要性を感じていないから	25.9	0.0	0.0	0.0	57.1	25.0	33.3	20.0	62.5	14.3
研究者と交流する機会がないから	3.4	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
研究内容を分かりやすく解説してくれる講座を知る機会がないから	1.7	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	12.1	12.5	100.0	40.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	7.1

⑤ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がない」、「どちらかというに関心がない」と答えた方の、普段一般的な身の回りの情報を得る方法（3つまで）

	全体 (n=58)	つくば市 筑波地区 (n=8)	つくば市 大穂地区 (n=1)	つくば市 豊里地区 (n=5)	つくば市 谷田部地区 (n=7)	つくば市 桜地区 (n=4)	つくば市 釜崎地区 (n=6)	つくば市 研究学園地区 (n=5)	つくば市 TX沿線地区 (n=8)	つくば市 市外地区 (n=14)
テレビ	63.8	62.5	0.0	60.0	71.4	100.0	83.3	60.0	62.5	50.0
ラジオ	5.2	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
新聞(電子版を含む)	29.3	37.5	0.0	80.0	28.6	25.0	33.3	20.0	25.0	14.3
一般向け書籍(電子版を含む)	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	7.1
インターネット(電子掲示板やSNS除く)	79.3	62.5	100.0	100.0	85.7	100.0	100.0	100.0	62.5	64.3
電子掲示板やSNS(フェイスブック、ツイッター)	32.8	25.0	100.0	20.0	28.6	50.0	16.7	40.0	62.5	21.4
家族や友人、知人、職場の人	19.0	37.5	100.0	20.0	14.3	25.0	16.7	0.0	12.5	14.3
つくば市報	5.2	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
つくば市公式SNS(フェイスブック、ツイッター)	3.4	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
チラシ(市内施設設置)	1.7	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑥ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がない」、「どちらかというに関心がない」と答えた方の、市が力を入れるべき事業

	全体 (n=58)	つくば市 筑波地区 (n=8)	つくば市 大穂地区 (n=1)	つくば市 豊里地区 (n=5)	つくば市 谷田部地区 (n=7)	つくば市 桜地区 (n=4)	つくば市 釜崎地区 (n=6)	つくば市 研究学園地区 (n=5)	つくば市 TX沿線地区 (n=8)	つくば市 市外地区 (n=14)
防災・防犯対策、安心・安全の確保	17.2	12.5	0.0	20.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	28.6
環境・人権問題への対応	3.4	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
子育て・健康・福祉支援	31.0	37.5	0.0	40.0	57.1	25.0	16.7	40.0	12.5	28.6
産業(農業・商工業の振興)・雇用支援	15.5	12.5	0.0	40.0	0.0	0.0	33.3	0.0	12.5	21.4
インフラの整備	6.9	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
文化・教育・スポーツ振興	5.2	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	20.0	12.5	0.0
科学技術振興	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	14.3
中心市街地(つくば駅周辺)の活性化	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	20.0	12.5	0.0
その他	8.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	16.7	20.0	0.0	7.1

⑦ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、ITやAI、ビッグデータなど、新しい技術や研究成果により、将来的に便利になっていくことを期待する分野（3つまで）

	全体 (n=447)	つくば市 筑波地区 (n=18)	つくば市 大穂地区 (n=21)	つくば市 豊里地区 (n=19)	つくば市 谷田部地区 (n=37)	つくば市 桜地区 (n=41)	つくば市 釜崎地区 (n=16)	つくば市 研究学園地区 (n=129)	つくば市 TX沿線地区 (n=45)	つくば市 市外地区 (n=121)
交通・移動に関すること	54.6	72.2	42.9	68.4	48.6	56.1	43.8	60.5	60.0	46.3
医療機関におけるサービス・手続きに関すること	25.5	27.8	19.0	15.8	18.9	29.3	43.8	26.4	17.8	28.1
健康状態の維持に関すること	34.0	11.1	38.1	31.6	37.8	36.6	25.0	37.2	33.3	33.1
介護の負担軽減に関すること	10.7	0.0	14.3	15.8	10.8	24.4	12.5	11.6	2.2	8.3
気象災害などの予報に関すること	25.5	11.1	52.4	26.3	27.0	34.1	25.0	23.3	22.2	23.1
官公庁の手続きに関すること	32.7	27.8	23.8	15.8	27.0	24.4	43.8	34.1	28.9	40.5
金融や決済に関すること	17.0	27.8	9.5	15.8	8.1	14.6	18.8	10.1	17.8	27.3
農業の生産性向上に関すること	16.6	33.3	14.3	10.5	24.3	14.6	18.8	17.8	20.0	10.7
物流や買い物に関すること	18.8	27.8	19.0	15.8	24.3	19.5	18.8	18.8	15.6	17.4
教育や子育てに関すること	23.7	22.2	23.8	21.1	29.7	14.6	18.8	23.3	28.9	24.8
環境・ゴミに関すること	14.3	11.1	14.3	15.8	18.9	22.0	0.0	17.1	15.6	9.1
防犯・安全に関すること	13.6	5.6	14.3	36.8	13.5	7.3	12.5	13.2	17.8	12.4
その他	1.6	0.0	0.0	5.3	2.7	0.0	6.3	0.8	2.2	1.7
特になし	0.9	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.2	0.8

⑧ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、つくば市が科学のまちで良かったと感じるとき

	全体 (n=447)	つくば市筑波地区 (n=18)	つくば市大穂地区 (n=21)	つくば市豊里地区 (n=19)	つくば市谷田部地区 (n=37)	つくば市桜地区 (n=41)	つくば市妻崎地区 (n=16)	つくば市研究学園地区 (n=129)	つくば市TX沿線地区 (n=45)	つくば市市外地区 (n=121)
研究機関のイベントに参加できるとき	20.1	5.6	38.1	10.5	13.5	24.4	12.5	23.3	22.2	18.2
子どもの教育に役立っているとき	14.5	5.6	4.8	10.5	18.9	14.6	6.3	17.8	15.6	14.0
いち早く最先端科学技術に触れることができたとき	10.1	16.7	0.0	10.5	5.4	4.9	12.5	10.1	8.9	14.0
テレビでつくばがよく取り上げられる時	12.3	16.7	14.3	36.8	13.5	14.6	37.5	5.4	11.1	10.7
研究機関やロケットなど構造物がまち中にあること	12.3	33.3	14.3	15.8	5.4	19.5	12.5	15.5	4.4	7.4
ロボットをはじめ、様々な実験がまちなかで行われているのを見たとき	5.1	0.0	19.0	5.3	13.5	4.9	6.3	2.3	2.2	5.0
研究機関で働くことができる	15.0	5.6	0.0	0.0	27.0	9.8	6.3	16.3	22.2	16.5
感じない	10.5	16.7	9.5	10.5	2.7	7.3	6.3	9.3	13.3	14.0

⑨ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、「科学のまち」として、つくば市が取り組むべきこと（3つまで）

	全体 (n=447)	つくば市筑波地区 (n=18)	つくば市大穂地区 (n=21)	つくば市豊里地区 (n=19)	つくば市谷田部地区 (n=37)	つくば市桜地区 (n=41)	つくば市妻崎地区 (n=16)	つくば市研究学園地区 (n=129)	つくば市TX沿線地区 (n=45)	つくば市市外地区 (n=121)
学校での科学教育の機会提供	39.4	38.9	38.1	42.1	48.6	36.6	31.3	37.2	42.2	39.7
市民への科学教育の機会提供	21.3	16.7	33.3	15.8	21.6	17.1	6.3	25.6	13.3	22.3
大学・研究機関・企業への研究開発支援	31.5	27.8	23.8	15.8	27.0	31.7	18.8	32.6	33.3	37.2
大学・研究機関・企業への社会実装(研究成果の社会普及)に対する支援	41.4	33.3	42.9	36.8	37.8	39.0	43.8	39.5	42.2	46.3
女性研究者の活躍支援	7.8	5.6	4.8	0.0	16.2	4.9	12.5	9.3	2.2	8.3
科学技術関連イベントの情報発信	11.4	16.7	4.8	10.5	8.1	19.5	12.5	7.8	20.0	10.7
研究成果・研究者に関する情報発信	9.8	5.6	9.5	15.8	10.8	7.3	12.5	7.8	17.8	9.1
様々な最先端技術を体験する機会の提供	30.2	11.1	33.3	52.6	18.9	34.1	37.5	29.5	31.1	30.6
研究機関・研究者同士の交流・連携の創出	18.1	16.7	9.5	10.5	18.9	17.1	18.8	20.2	17.8	19.0
市民サービスの効率化	20.8	22.2	14.3	31.6	24.3	34.1	18.8	20.2	22.2	14.9
海外都市との連携	3.6	5.6	0.0	0.0	2.7	2.4	0.0	4.7	4.4	4.1
まちのスマートシティ化	31.8	38.9	28.6	26.3	32.4	22.0	50.0	34.1	31.1	30.6
その他	4.0	0.0	9.5	10.5	8.1	7.3	6.3	3.1	2.2	1.7
特になし	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	2.2	0.8

⑩ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、市内大学・研究機関・企業などに期待すること（3つまで）

	全体 (n=447)	つくば市筑波地区 (n=18)	つくば市大穂地区 (n=21)	つくば市豊里地区 (n=19)	つくば市谷田部地区 (n=37)	つくば市桜地区 (n=41)	つくば市妻崎地区 (n=16)	つくば市研究学園地区 (n=129)	つくば市TX沿線地区 (n=45)	つくば市市外地区 (n=121)
世界的な研究成果	44.3	38.9	28.6	31.6	48.6	39.0	50.0	43.4	55.6	46.3
研究内容の情報発信	32.4	16.7	42.9	36.8	35.1	41.5	18.8	27.1	48.9	29.8
技術相談・共同研究の促進	21.9	16.7	33.3	10.5	8.1	14.6	12.5	27.9	15.6	26.4
科学技術・専門教育の充実	31.5	16.7	19.0	15.8	27.0	39.0	18.8	38.0	20.0	36.4
研究開発成果の企業への移転	31.3	33.3	28.6	57.9	27.0	29.3	56.3	26.4	24.4	33.9
研究試験機器の外部利用の促進	9.6	16.7	4.8	5.3	10.8	9.8	18.8	10.1	6.7	9.1
就業の場の創出	24.4	27.8	28.6	42.1	32.4	34.1	31.3	22.5	24.4	15.7
小・中・高校との連携した科学(理科)教育の充実	42.7	50.0	61.9	42.1	48.6	43.9	50.0	39.5	48.9	36.4
市民公開講座などの学習機会の提供	22.8	16.7	23.8	36.8	29.7	24.4	12.5	26.4	28.9	14.0
その他	2.0	5.6	4.8	0.0	2.7	0.0	0.0	2.3	2.2	1.7
特になし	1.3	0.0	4.8	0.0	2.7	0.0	0.0	1.6	2.2	0.8

⑪ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、過去に参加又は見学したイベント（複数回答）

	全体(n=447)	つくば市筑波地区(n=18)	つくば市大穂地区(n=21)	つくば市豊里地区(n=19)	つくば市谷田部地区(n=37)	つくば市桜地区(n=41)	つくば市妻崎地区(n=16)	つくば市研究学園地区(n=129)	つくば市TX沿線地区(n=45)	つくば市市外地区(n=121)
研究機関開催の一般公開(科学技術週間)	52.8	44.4	66.7	47.4	62.2	56.1	50.0	61.2	62.2	36.4
ちびっこ博士	24.6	33.3	42.9	36.8	29.7	29.3	31.3	28.7	20.0	11.6
まつりつくば(ロボットパーク)	26.6	16.7	38.1	42.1	45.9	31.7	37.5	23.3	26.7	18.2
筑波実験植物園企画展	40.0	33.3	52.4	42.1	48.6	39.0	56.3	54.3	46.7	16.5
KEKコミュニケーションプラザ	16.1	16.7	23.8	15.8	16.2	19.5	18.8	20.9	15.6	8.3
農研機構食と農の科学館	27.3	22.2	42.9	47.4	43.2	22.0	43.8	31.0	28.9	12.4
筑波宇宙センタースペースドーム	50.6	44.4	57.1	68.4	59.5	53.7	68.8	55.8	55.6	33.9
国土地理院地図と測量の科学館	44.3	44.4	61.9	52.6	56.8	51.2	56.3	46.5	51.1	27.3
産総研サイエンス・スクエアつくば	30.4	27.8	42.9	36.8	40.5	36.6	25.0	34.9	33.3	17.4
産総研地質標本館	40.3	38.9	61.9	52.6	56.8	41.5	37.5	47.3	42.2	21.5
つくば科学フェスティバル	27.3	22.2	47.6	47.4	32.4	34.1	50.0	29.5	22.2	14.0
つくばエキスポセンター	63.5	55.6	76.2	94.7	81.1	68.3	62.5	72.1	60.0	43.0
つくばサイエンスツアーバス	8.9	5.6	14.3	15.8	8.1	7.3	6.3	10.9	11.1	5.8
その他	4.5	0.0	4.8	0.0	5.4	2.4	6.3	4.7	6.7	5.0
特になし	15.4	16.7	4.8	0.0	2.7	12.2	0.0	7.8	8.9	37.2

⑫ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、普段、科学技術に関する情報を得る方法（複数回答）

	全体(n=447)	つくば市筑波地区(n=18)	つくば市大穂地区(n=21)	つくば市豊里地区(n=19)	つくば市谷田部地区(n=37)	つくば市桜地区(n=41)	つくば市妻崎地区(n=16)	つくば市研究学園地区(n=129)	つくば市TX沿線地区(n=45)	つくば市市外地区(n=121)
つくば市報	29.3	33.3	57.1	36.8	29.7	24.4	37.5	35.7	35.6	14.0
つくば市公式SNS(フェイスブック、ツイッター)	18.3	16.7	33.3	15.8	32.4	24.4	25.0	17.8	24.4	7.4
チラシ(市内施設設置)	16.3	5.6	9.5	31.6	10.8	22.0	12.5	17.8	26.7	11.6
つくばサイエンスアカデミーウェブサイト	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.3	8.9	3.3
つくばエキスポセンターウェブサイト	7.4	0.0	9.5	15.8	5.4	4.9	6.3	9.3	11.1	5.0
つくばSTEAMコンパスウェブサイト	2.5	0.0	0.0	0.0	2.7	2.4	0.0	1.6	8.9	2.5
各研究機関のウェブサイト	30.0	11.1	19.0	15.8	27.0	24.4	12.5	44.2	28.9	27.3
新聞(電子版含む)	30.4	16.7	23.8	36.8	21.6	24.4	37.5	30.2	35.6	34.7
ラジオ	3.1	5.6	4.8	0.0	2.7	0.0	6.3	0.8	4.4	5.8
テレビ	22.8	27.8	38.1	31.6	13.5	17.1	50.0	18.6	31.1	20.7
一般向け書籍(電子版含む)	14.8	5.6	4.8	31.6	13.5	4.9	12.5	14.0	17.8	19.0
インターネット(電子掲示板やSNS除く)	55.5	61.1	47.6	57.9	48.6	56.1	56.3	48.8	60.0	62.8
電子掲示板やSNS(フェイスブック、ツイッター)	31.1	33.3	28.6	36.8	29.7	31.7	25.0	31.0	31.1	31.4
国や県などの行政機関	9.2	5.6	4.8	5.3	10.8	7.3	12.5	6.2	8.9	14.0
企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)	7.2	11.1	0.0	5.3	10.8	7.3	6.3	3.9	6.7	10.7
大学	20.8	5.6	9.5	0.0	18.9	22.0	6.3	32.6	13.3	20.7
学会	15.2	0.0	9.5	10.5	13.5	12.2	6.3	24.8	15.6	11.6
科学者、技術者	15.0	5.6	9.5	0.0	21.6	19.5	12.5	21.7	8.9	11.6
家族や友人、知人、職場の人	21.0	22.2	9.5	36.8	21.6	17.1	12.5	20.2	37.8	17.4
一般の個人	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	1.6	0.0	1.7
どこから入手して良いか分からない	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	3.1	0.0	2.5
特にどこからも得ていない	1.3	0.0	4.8	0.0	2.7	0.0	0.0	0.8	0.0	2.5

⑬ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、科学技術に関して発信されることを期待する情報（複数回答）

	全体(n=447)	つくば市 筑波地区 (n=18)	つくば市 大穂地区 (n=21)	つくば市 豊里地区 (n=19)	つくば市 谷田部地区 (n=37)	つくば市 桜地区 (n=41)	つくば市 妻崎地区 (n=16)	つくば市 研究学園地区 (n=129)	つくば市 TX沿線地区 (n=45)	つくば市 市外地区 (n=121)
身近な場面での科学技術の活用事例	65.1	55.6	81.0	89.5	81.1	51.2	56.3	64.3	71.1	59.5
科学技術に関する最新の話題やニュース	65.8	55.6	52.4	47.4	75.7	61.0	62.5	65.9	86.7	63.6
イベントなどの情報	42.1	22.2	52.4	36.8	40.5	46.3	50.0	45.7	48.9	35.5
研究や技術の安全性について	15.9	11.1	28.6	15.8	16.2	9.8	18.8	17.8	15.6	14.0
科学技術の基礎的な情報	32.0	16.7	23.8	52.6	35.1	31.7	37.5	34.9	35.6	26.4
産学官連携の取組内容	26.6	22.2	38.1	21.1	21.6	24.4	31.3	27.1	26.7	27.3
市にゆかりのある科学者・技術者情報	17.2	16.7	14.3	21.1	18.9	14.6	25.0	17.8	15.6	16.5
その他	1.8	0.0	4.8	0.0	2.7	0.0	0.0	1.6	4.4	1.7
特になし	2.2	16.7	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	1.6	2.2	1.7

⑭ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、次世代を担う人材育成について、科学技術教育として行った方が良いこと（3つまで）

	全体(n=447)	つくば市 筑波地区 (n=18)	つくば市 大穂地区 (n=21)	つくば市 豊里地区 (n=19)	つくば市 谷田部地区 (n=37)	つくば市 桜地区 (n=41)	つくば市 妻崎地区 (n=16)	つくば市 研究学園地区 (n=129)	つくば市 TX沿線地区 (n=45)	つくば市 市外地区 (n=121)
学校におけるSTEAM教育の実施	59.1	50.0	66.7	47.4	62.2	68.3	31.3	61.2	66.7	55.4
学校外でのSTEAM教育の実施	29.1	16.7	23.8	26.3	24.3	12.2	31.3	28.7	31.1	38.8
科学者や技術者と話をし、話を聞く機会の充実	48.8	50.0	33.3	52.6	45.9	46.3	31.3	51.9	57.8	47.9
わかりやすい科学技術の提供	38.5	38.9	47.6	47.4	40.5	46.3	43.8	40.3	31.1	32.2
自然に親しめる学習機会の充実	33.8	27.8	28.6	26.3	37.8	29.3	43.8	42.6	40.0	24.0
コンピューター(プログラミング)教育の充実	29.5	38.9	28.6	57.9	27.0	31.7	18.8	24.0	33.3	29.8
科学館等での企画・展示の充実	24.2	16.7	28.6	21.1	27.0	24.4	25.0	27.1	31.1	18.2
その他	1.3	0.0	4.8	0.0	0.0	4.9	6.3	0.8	0.0	0.8
特になし	1.1	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	2.5

⑮ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、科学技術の健全な発展により不安のある分野（複数回答）

	全体(n=447)	つくば市 筑波地区 (n=18)	つくば市 大穂地区 (n=21)	つくば市 豊里地区 (n=19)	つくば市 谷田部地区 (n=37)	つくば市 桜地区 (n=41)	つくば市 妻崎地区 (n=16)	つくば市 研究学園地区 (n=129)	つくば市 TX沿線地区 (n=45)	つくば市 市外地区 (n=121)
サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪	62.0	33.3	71.4	84.2	59.5	53.7	75.0	59.7	64.4	64.5
遺伝子組換え食品	15.7	11.1	4.8	26.3	16.2	17.1	12.5	15.5	17.8	15.7
原子力発電の安全性	26.2	38.9	23.8	36.8	16.2	29.3	31.3	31.8	24.4	19.0
志げにエネルギーの無駄遣いが増えること	16.8	27.8	4.8	21.1	16.2	12.2	25.0	18.6	22.2	13.2
地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題	37.4	27.8	38.1	42.1	40.5	26.8	43.8	38.0	48.9	34.7
身近に自然を感じる機会が少なくなること	11.4	11.1	4.8	10.5	21.6	4.9	12.5	14.0	13.3	8.3
情報が氾濫し、どれを信じればよいかわからなくなること	39.6	44.4	33.3	52.6	24.3	43.9	31.3	41.1	40.0	40.5
人間的なふれあいが減少すること	17.2	27.8	19.0	10.5	8.1	9.8	18.8	20.9	15.6	18.2
クローン人間を生み出すこと、兵器の利用などに関する倫理的な問題	26.8	22.2	38.1	21.1	32.4	34.1	25.0	27.1	15.6	26.4
人間が怠惰になること	9.2	11.1	9.5	10.5	8.1	2.4	0.0	9.3	11.1	11.6
科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなること	19.2	27.8	23.8	21.1	10.8	24.4	25.0	20.9	15.6	16.5
人工知能(AI)などの発達により、人間の仕事が奪われること	10.7	11.1	9.5	21.1	16.2	7.3	18.8	13.2	11.1	5.0
先端医療技術などが普及しても、一部の人が思慮を受けられないこと	23.9	22.2	33.3	47.4	32.4	26.8	12.5	27.1	20.0	14.9
自動運転技術	6.7	5.6	4.8	21.1	10.8	4.9	6.3	5.4	8.9	5.0
ゲノム編集医療	7.6	16.7	4.8	10.5	8.1	9.8	0.0	10.1	4.4	5.0
ゲノム編集食品	6.0	11.1	0.0	5.3	5.4	4.9	6.3	6.2	8.9	5.8
仮想通貨(暗号資産)	12.8	0.0	14.3	5.3	21.6	7.3	31.3	13.2	8.9	13.2
農業の安全性	8.5	5.6	9.5	10.5	2.7	9.8	12.5	10.9	6.7	7.4
ナノテクノロジー	2.2	5.6	0.0	5.3	0.0	0.0	6.3	3.1	0.0	2.5
携帯電話(5G)	2.0	0.0	0.0	5.3	2.7	0.0	0.0	3.1	4.4	0.8
水素エネルギー	2.0	0.0	0.0	5.3	2.7	0.0	6.3	3.9	2.2	0.0
ゲノム解析	4.0	5.6	4.8	0.0	2.7	7.3	0.0	3.9	2.2	5.0
IoT	2.0	0.0	0.0	0.0	8.1	0.0	0.0	3.9	2.2	0.0
量子技術	1.8	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	2.2	3.3
その他	0.7	0.0	0.0	0.0	2.7	2.4	0.0	0.8	0.0	0.0
特に不安を感じない	8.7	0.0	4.8	5.3	5.4	7.3	6.3	7.0	15.6	12.4
わからない	0.2	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑩ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、デジタル化において重要だと思うもの（複数回答）

	全体(n=447)	つくば市 筑波地区 (n=18)	つくば市 大穂地区 (n=21)	つくば市 豊里地区 (n=19)	つくば市 谷田部地区 (n=37)	つくば市 桜地区 (n=41)	つくば市 妻崎地区 (n=16)	つくば市 研究学園地区 (n=128)	つくば市 TX沿線地区 (n=45)	つくば市 市外地区 (n=121)
テレワーク(在宅勤務)	37.1	38.9	42.9	42.1	43.2	36.6	31.3	38.0	33.3	34.7
行政のデジタル化	68.0	55.6	47.6	42.1	67.6	63.4	75.0	70.5	71.1	74.4
書面・押印・対面主義の見直し	60.9	61.1	42.9	36.8	51.4	51.2	43.8	69.0	71.1	63.6
オンライン診療	28.9	33.3	19.0	15.8	24.3	29.3	18.8	31.0	44.4	26.4
キャッシュレス化の推進	28.2	33.3	28.6	26.3	24.3	24.4	31.3	31.8	31.1	24.8
オンライン教育	24.4	33.3	28.6	26.3	13.5	9.8	25.0	27.9	31.1	24.0
オンライン会議	28.6	33.3	33.3	21.1	27.0	22.0	18.8	37.2	33.3	21.5
超スマート社会(Society5.0)の実現	28.6	61.1	19.0	42.1	18.9	24.4	25.0	34.9	22.2	24.0
デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速化	29.1	27.8	28.6	31.6	27.0	14.6	18.8	38.0	22.2	28.9
サテライトオフィス	13.4	22.2	14.3	10.5	10.8	12.2	25.0	14.7	11.1	11.6
マイナンバーカードの普及	19.2	11.1	28.6	15.8	24.3	14.6	37.5	21.7	15.6	15.7
デジタル格差を拡大させない取り組み	50.6	27.8	61.9	63.2	54.1	53.7	43.8	55.0	42.2	47.1
その他	1.8	0.0	0.0	5.3	5.4	2.4	0.0	2.3	2.2	0.0
特になし	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.8

⑪ 「科学技術に関するニュースや話題への関心」について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」と答えた方の、市が取り組んでいる事業の中で知っているもの（複数回答）

	全体(n=447)	つくば市 筑波地区 (n=18)	つくば市 大穂地区 (n=21)	つくば市 豊里地区 (n=19)	つくば市 谷田部地区 (n=37)	つくば市 桜地区 (n=41)	つくば市 妻崎地区 (n=16)	つくば市 研究学園地区 (n=129)	つくば市 TX沿線地区 (n=45)	つくば市 市外地区 (n=121)
つくばSociety5.0社会実装トライアル支援事業	37.1	27.8	52.4	47.4	59.5	36.6	43.8	29.5	40	33.9
セグウェイなどのモビリティ実証実験	70.7	55.6	90.5	73.7	86.5	75.6	81.3	76	80	52.1
つくばチャレンジ	31.3	16.7	42.9	36.8	51.4	29.3	43.8	31.8	26.7	24.8
スマートシティ/スーパーシティ推進	42.3	22.2	57.1	31.6	56.8	48.8	62.5	37.2	48.9	38
スタートアップパークでのスタートアップ支援	37.4	33.3	52.4	47.4	51.4	29.3	43.8	35.7	40	32.2
つくば国際戦略総合特区プロジェクト	30.6	5.6	47.6	47.4	45.9	31.7	31.3	28.7	35.6	24
研究者のロールモデル紹介(市HP、常隣リビング)	14.3	5.6	23.8	15.8	27	12.2	0	16.3	20	8.3
体験型科学教育事業「つくばSTEAMコンパス」	18.1	11.1	33.3	21.1	21.6	17.1	25	17.1	22.2	14
情報オリンピックや科学の甲子園などの開催	25.7	16.7	47.6	42.1	32.4	26.8	18.8	24.8	31.1	18.2
つくば科学教育マスター	23.5	11.1	38.1	42.1	35.1	19.5	25	23.3	26.7	16.5
サイエンスカフェの実施	45	27.8	57.1	52.6	56.8	61	37.5	44.2	55.6	33.1
G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催	45.9	27.8	81	68.4	54.1	41.5	56.3	48.1	51.1	32.2
G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合開催	35.8	11.1	61.9	47.4	48.6	31.7	50	36.4	40	28.4
海外都市との連携	22.4	11.1	42.9	21.1	35.1	24.4	12.5	22.5	31.1	14
小中学校での研究者による出前レクチャー	30.6	11.1	47.6	42.1	37.8	29.3	31.3	37.2	35.6	18.2
ちびっこ博士	51.9	33.3	76.2	78.9	67.6	65.9	56.3	61.2	51.1	26.4
つくばフェスティバル	41.6	27.8	71.4	57.9	62.2	48.8	50	43.4	40	24.8
つくば科学フェスティバル	35.8	33.3	61.9	63.2	48.6	36.6	37.5	37.2	33.3	22.3
科学技術モニュメント「未来への道」の整備(中央公園)	15.7	5.6	33.3	10.5	21.6	19.5	25	17.8	15.6	8.3
特になし	10.3	11.1	0	10.5	5.4	4.9	6.3	5.4	11.1	20.7

2.つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定懇話会委員名簿・審議過程

(1) 懇話会委員名簿

(外部委員：50音順)

NO	氏名	ふりがな	所属	役所・その他
1	飯塚 洋子	いいつか ようこ	市民委員	
2	飯村 壮史	いむら そうし	市民委員	
3	伊藤 正敏	いとう まさとし	茨城県	産業戦略部技術振興局科学技術振興課長
4	井上 真優子	いのうえ まゆこ	市民委員	
5	大塚 隆志	いぬつか たかし	(一社)つくばグローバルイノベーション推進機構	事務局長
6	上平 未枝	うへだいら みえ	市民委員	
7	勝野 頼彦	かつの よりひこ	国立大学法人筑波大学	副学長・理事
8	金丸 正剛	かねまる せいごう	(国研)産業技術総合研究所	つくばセンター所長
9	山海 嘉之	さんかい よしゆき	CYBERDYNE株	代表取締役社長 国立大学法人筑波大学 システム情報系 教授 サイバニクス研究センター 研究統括 未来社会工学研究センター センター長
10	高井 一也	たかい かずや	株つくば研究支援センター	常務取締役
11	多賀 世納	たが せな	株リーパー	公衆衛生室 室長
12	中島 隆	なかじま たかし	筑波研究学園都市交流協議会	副会長 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 理事
13	中原 徹	なかはら とおる	(公財)つくば科学万博記念財団	理事長
14	横山 歩	よこやま あゆみ	株常陽銀行	コンサルティング営業部 担当部長兼公務室長
15	吉村 大介	よしむら だいすけ	(県立)並木中等教育学校	企画研究部 部長
16	渡辺 莉沙	わたなべ りさ	市民委員	

(内部委員)

NO	氏名	ふりがな	所属	役所・その他
1	森 祐介	もり ゆうすけ	政策イノベーション部	部長
2	坪内 孝司	つぼうち たかし	政策イノベーション部 国立大学法人筑波大学／システム情報系	顧問 教授
3	鈴木 健嗣	すずき けんじ	政策イノベーション部 国立大学法人筑波大学／システム情報系 PLIMES株	顧問 (アーキテクト) 教授、サイバニクス研究センター長 代表取締役社長&Co-Founder
4	野澤 政章	のざわ まさあき	経済部	部長
5	吉沼 正美	よしぬま まさみ	教育局	部長

(2) 審議過程

- 令和3年(2021年)6月30日(水)
第1回 つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定懇話会
- 令和3年(2021年)10月6日(水)
第2回 つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定懇話会
- 令和3年(2021年)11月24日(水)
第3回 つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定懇話会
- 令和4年(2022年)1月4日(火)～令和4年(2022年)2月3日(木)
パブリックコメント
- 令和4年(2022年)2月
第4回 つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定懇話会
- 令和4年(2022年)3月25日(金)
策定

つくば市科学技術・イノベーション振興指針

令和4年3月

編集発行

つくば市 政策イノベーション部 科学技術振興課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

TEL 029-883-1111 (代表)